



国立大学法人

鹿児島大学概要

OUTLINE OF KAGOSHIMA UNIVERSITY

2006



学 年 曆			
学 年	前 期	4月1日～9月30日	
	後 期	10月1日～3月31日	
入 学 式	4月7日		
休 業	春 季 休 業	4月1日～4月10日	
	夏 季 休 業	8月1日～9月30日	
	冬 季 休 業	12月25日～1月8日	
	鹿児島大学記念日	11月15日	
卒 業 式	3月23日		

	学長挨拶 / 歴代学長	2
基本理念	鹿児島大学の基本理念	4
沿革・組織	沿革概要図	6
	組織図	8
役職員等	役員、経営協議会委員、教育研究評議会評議員 学長補佐、部局長等(事務局含む)	10
教育研究組織	教育センター	13
	学部・大学院概要	14
	法文学部 / 人文社会科学研究科	16
	教育学部 / 教育学研究科・附属学校	17
	理学部 / 理工学研究科	19
	医学部 / 保健学研究科	20
	歯学部	21
	医学部・歯学部附属病院	22
	工学部 / 理工学研究科	24
	農学部 / 農学研究科	25
	水産学部 / 水産学研究科	26
	大学院医歯学総合研究科	27
	大学院司法政策研究科	28
	大学院連合農学研究科	29
	山口大学大学院連合獣医学研究科	29
施設等	学内共同教育研究施設等	30
	国際戦略本部	37
	厚生施設等	38
	体育施設	39
資料編	役員・教職員数	40
	学生の定員・現員	41
	入学状況	44
	卒業(修了)数・就職状況	46
	学位授与状況	47
	奨学生状況	47
	外国人留学生	48
	国際学術交流協定大学	50
	研究者交流状況	51
	部局別国際共同研究実施件数	51
	公開講座	52
	財務状況	53
	外部資金受入状況	53
	知的財産管理状況	55
	学術刊行物	55
	土地・建物・船舶	56
	各キャンパス航空写真	57
	地区別建物等配置図	58
	位置図・交通アクセス	62
	所在地一覧	63



永田 行博 学長

鹿児島大学は8学部9研究科から構成され、約1万人の学部学生と約2千人の大学院学生を数える日本有数の総合大学であります。平成16年4月1日には国立大学法人鹿児島大学として新たな出発をしました。

鹿児島は日本列島の南の玄関に位置し、古くから海外との交流の盛んな地でありました。従って、そこに位置する鹿児島大学は大学の教育・研究・社会貢献という使命とともに、地理的にも歴史的にも、わが国の国立大学の中では大きな使命を負っている大学といえます。その認識のもとに新たな出発に当たって、「鹿児島大学は高度な教育研究・学術によって新しい豊かさを創造する日本の主要な『知の拠点』になるとともに、地域の発展と広く世界の人々のために貢献することを目指します」と高らかに宣言して、21世紀にふさわしい鹿児島大学の創出に向けて改革を持続しております。

鹿児島大学はその源を1773年に設立された藩学造士館に遡ることができます。昭和24年5月31日国立学校設置法により、第七高等学校、鹿児島師範学校、鹿児島青年師範学校、鹿児島農林専門学校および鹿児島水産専門学校を母体として文理・教育・農・水産の4学部から成る国立大学として発足して以来、すでに60年近い歴史を有しています。その後昭和30年7月医学部および工学部が鹿児島県立大学からの国立移管によって増設されました。さらに昭和52年10月歯学部が新設され、平成10年医学部保健学科の増設により、現在の骨格が整いました。

大学院は昭和34年4月大学院医学研究科の設置に始まり、理工学研究科、連合農学研究科を経て、平成15年人文社会科学研究科(博士)が設置され、さらに医学部・歯学部研究科の重点化統合による医歯学総合研究科へと発展しました。さらに平成16年に専門職大学院司法政策研究科が、平成17年に保健学研究科(博士)が設置されました。

大学の使命は、人類の知的遺産の継承と知的創造であり、人間性豊かで幅広い教養を備えた人材育成などであります。さらにその地域や世界の学術、教育、研究、文化の拠点としての役割を果たすことにあります。わが鹿児島大学は高等教育、学術研究を通じて大きな実績を有し、その使命を果たしてきましたが、現在は教育、研究のみならず、社会活動などに大きな成果をあげており、南九州全域の学術、文化の中心として、その貢献は著しいものがあります。

また、国際戦略本部を設置し、国際交流にも全力を投入しております。すでに国際学術交流協定大学は57大学を数え、世界38カ国から350名を超す留学生をも迎えています。

今、鹿児島大学は長い歴史と伝統を踏まえつつ、国立大学法人化を機に、新しい21世紀の総合大学を創出し、大学に期待される大きな使命をさらに発展・展開させようとしています。

歴代学長

氏名	任期	備考
緒方 健三郎	昭和24年 5月31日～昭和31年 7月31日	学長事務取扱
福田 得志	昭和31年 8月 1日～昭和35年 7月31日	
〃	昭和35年 8月 1日～昭和39年 7月31日	
〃	昭和39年 8月 1日～昭和43年 7月31日	
町野 碩夫	昭和43年 8月 1日～昭和44年10月20日	
中村 末男	昭和44年10月21日～昭和46年 1月11日	
〃	昭和46年 1月12日～昭和50年 1月11日	
蟹江 松雄	昭和50年 1月12日～昭和54年 1月11日	
〃	昭和54年 1月12日～昭和56年 1月11日	
石神 兼文	昭和56年 1月12日～昭和60年 1月11日	
〃	昭和60年 1月12日～昭和62年 1月11日	
井形 昭弘	昭和62年 1月12日～平成 3年 1月11日	
〃	平成 3年 1月12日～平成 5年 1月11日	
早坂 祥三	平成 5年 1月12日～平成 9年 1月11日	
田中 弘允	平成 9年 1月12日～平成13年 1月11日	
〃	平成13年 1月12日～平成15年 1月11日	
永田 行博	平成15年 1月12日～	



鹿児島大学の使命

鹿児島大学は、その拠点が、日本列島の南の玄関に当たり、古くから海外との交流や文化の移入の先進地であり、近代への先導者の輩出地であったこと、海洋と島嶼に恵まれ後世に遺すべき優れた自然環境と伝統、文化の地であることに鑑み、また、地球規模で新たな豊さを享受する時代が拓かれつつあるとの深い認識のもと、学問の自由と多様性とを堅持し、自主自律の精神を涵養しつつ、「真善美壮を深く究めこれを具現し世界を先導する総合学術共同体」への持続的な展開を図る。

すなわち、鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理観と芸術性を備え、怯懦を排して自ら困難に挑戦する人格を育成し、学術と学芸のあらゆる分野で新たな時代にふさわしい体系と枠組みを創出することによって、また、国際的視点を堅持しつつ地域社会に密着しその発展に貢献することを通じて、学術文化向上への寄与はもとより、基本的人権ならびに自由と自主の尊重、人類の福祉と連帯、国際理解と寛容、世界平和および地球環境の保全に留意した維持可能でかつ公正な社会の発展に寄与する。

教 育

鹿児島大学は、開かれた大学として、学ぶ意欲と関心を自ら引き出す力のあるすべての人々を受け入れ、在学前後の教育機関やキャリア形成の種々の場との緊密な連携をはかりつつ、学生の潜在能力と適性の発見ならびにそれらの開花を促し、入学時の諸能力を顕著に発展させて大学の使命の実現に努めるとともに、これらを一層推進するための優れた教育の体系と方法を絶えず開発し展開することに努める。

研 究

鹿児島大学は、知者不言を美德とする場を超え出て、個々の卓越性の明確な自認と発信を促進して、学生をもとめた個性的独創的研究を展開するとともに、先端化しつつも細分化される個々の分野の統合を念頭に置きながら、世界と地域が求める新たな学術の体系と枠組みの創出に果敢に挑みそれらを高度に達成することによって、世界を先導する総合学術共同体の実を挙げる。

地域社会、国際社会との関係

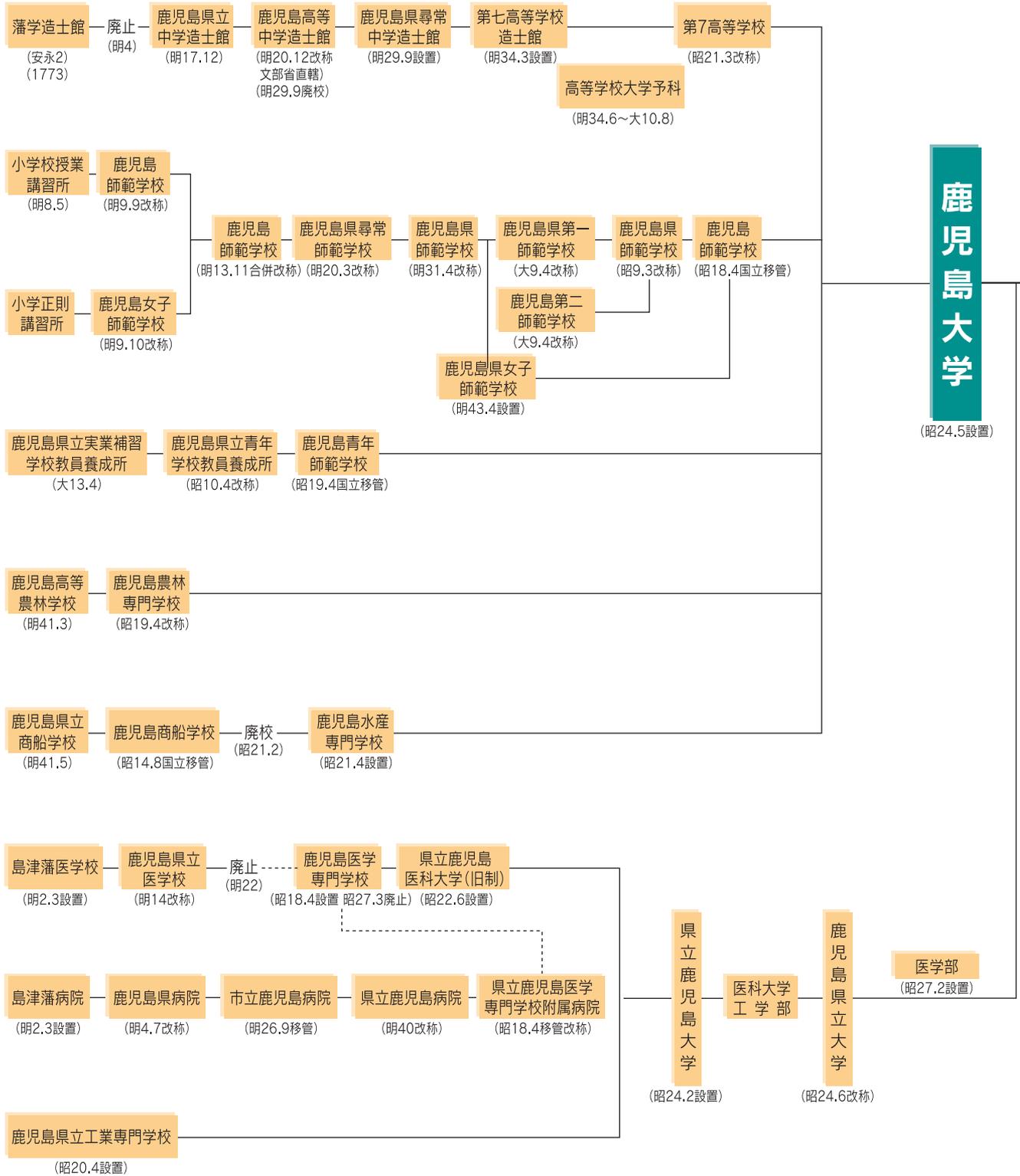
鹿児島大学は、その使命にかなう限り、地域ならびに国際社会のあらゆる領域の多様な要請に対応することを抱負とし、また、学術と学芸のすべての分野で得られた成果を積極的に普及、活用するために、情報の迅速な公開と発信に努め、施設の開放はじめ種々の公開事業、交流事業を通じて地域の振興と活性化に貢献するとともに、国際社会の連帯と協力に資する知的交流網の核となることによって学術の国際的進展を牽引し、同時に、これらの活動から広く啓発されることを喜びとする。

組織運営

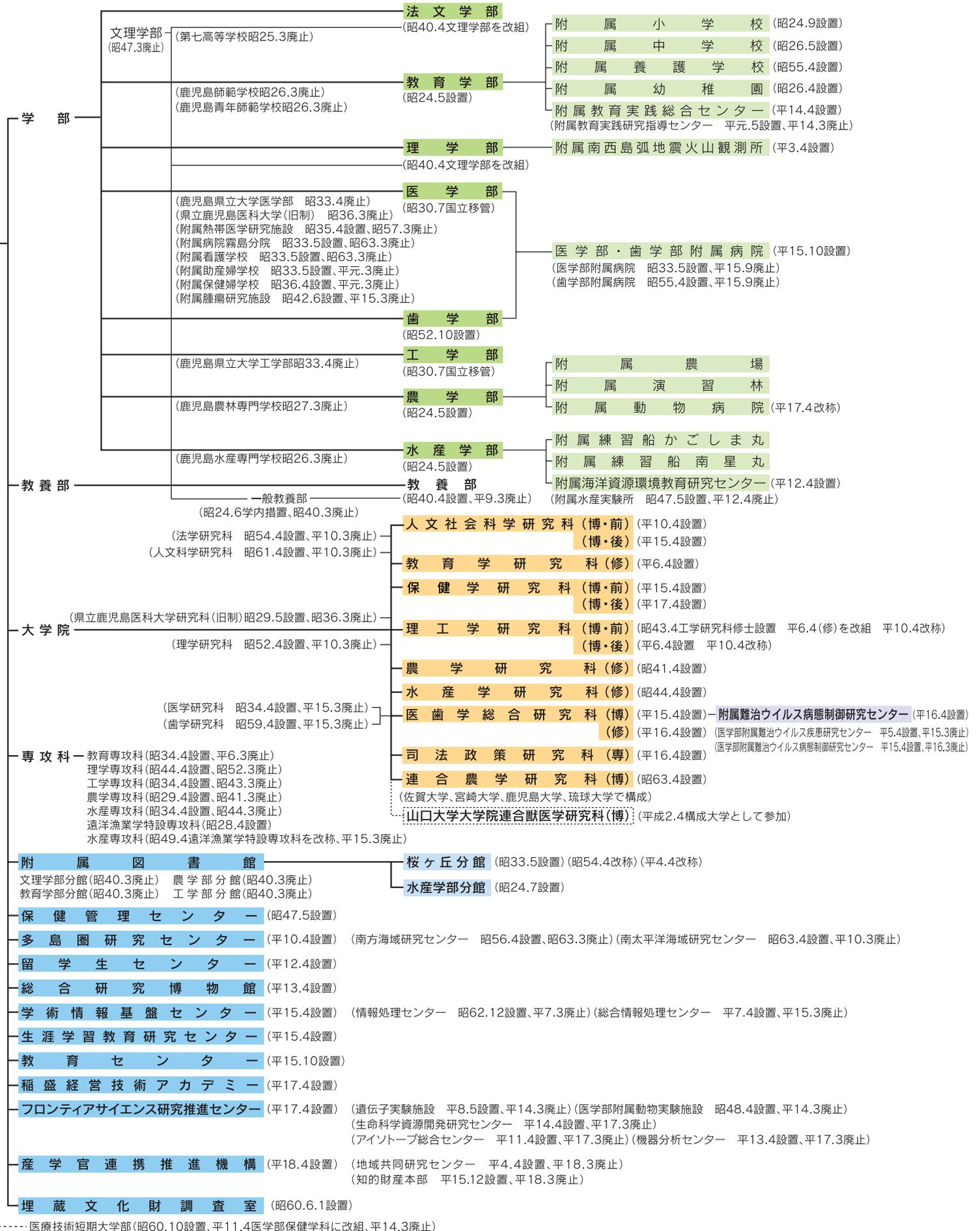
鹿児島大学は、学生教職員の協働のもと、学部、研究科等教育研究上大きな役割を果たす基礎組織が大学全体の運営に等しく参画する機会をもつことはもとより、地域住民の参加と支援および学長による適切な指導的役割を重視し、弾力的で機動性に富む民主的組織運営を行う。

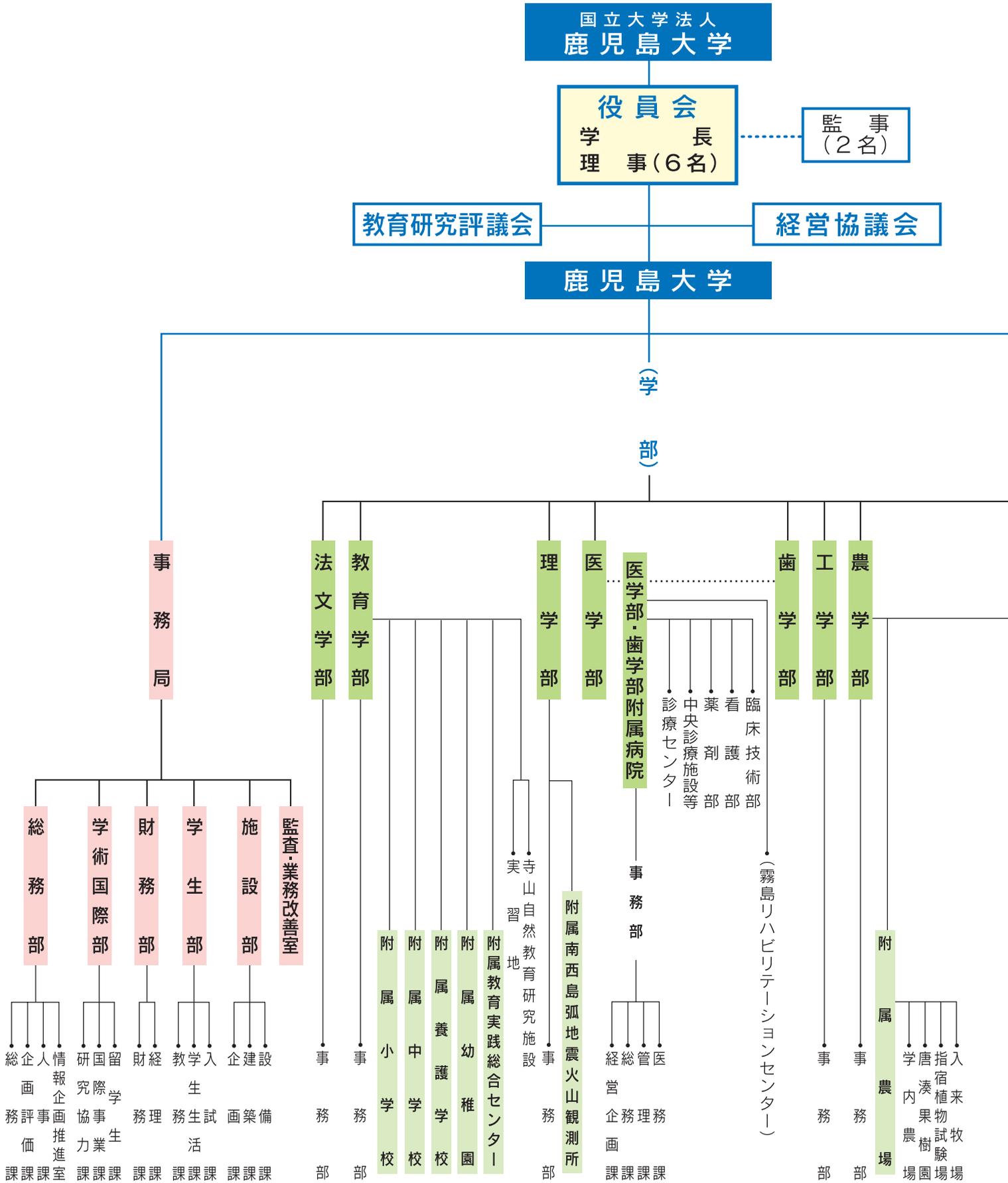
鹿児島大学は、その活動の点検評価に最適の体制を自発的に創出して機能させ、積極的に社会に対する説明責任を果たしつつ、学術の高度化、専門化の動向ならびに「男女共同参画」、「バリアフリー」等社会や地域の多様な要請に応えて、また大学の財務面、施設面にも配慮して、組織運営の不断の自律的改善に努め、安全で快適な総合学術共同体の一層の充実を図る。

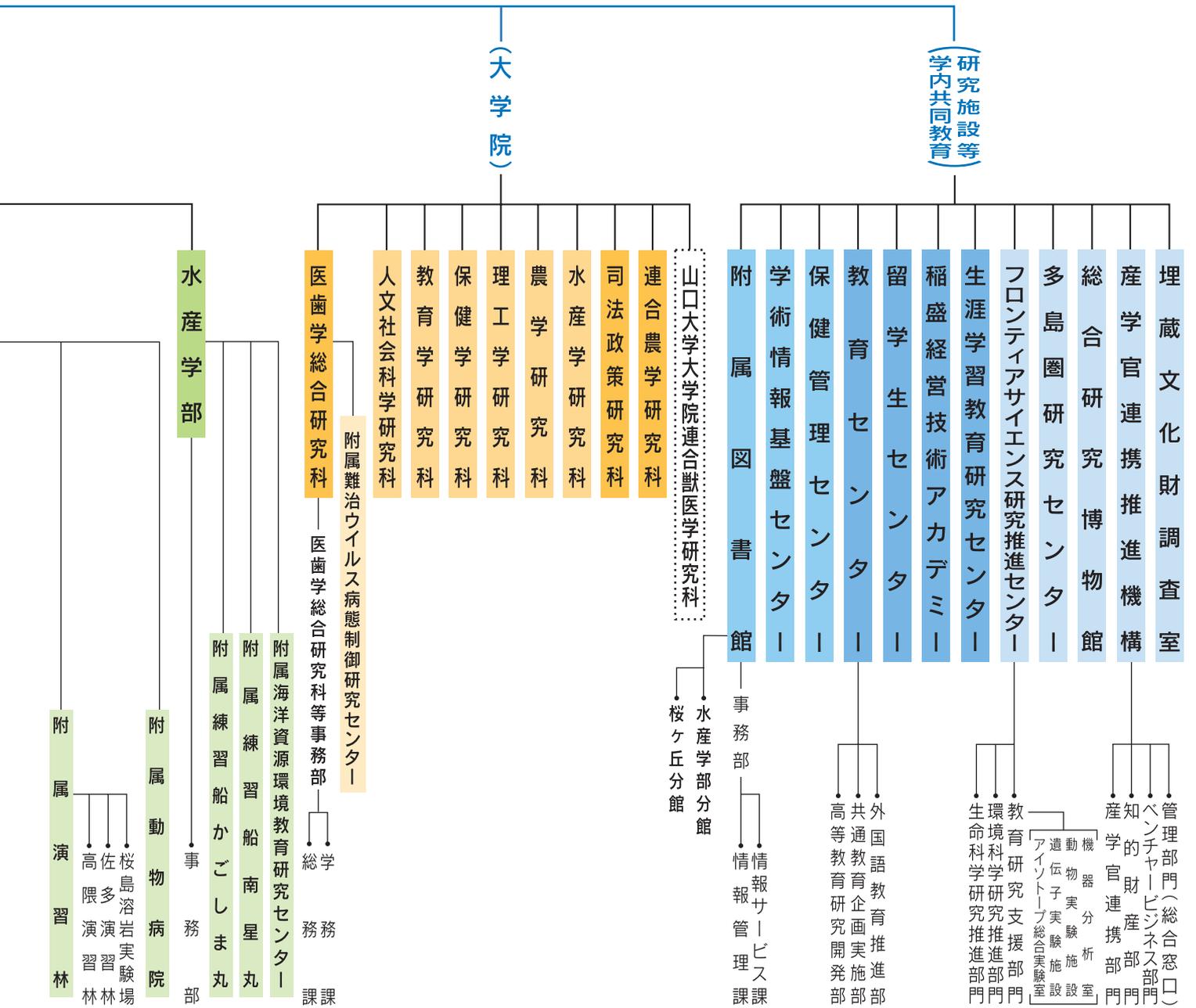




沿革概要図







役員

学 長		永 田 行 博
理 事	企画・評価担当(兼副学長)	矢 野 利 明
理 事	教育・学生担当(兼副学長)	種 村 完 司
理 事	研究・社会連携担当(兼副学長)	竹 田 靖 史
理 事	財務・環境・医療担当(兼副学長)	鉦之原 昌
理 事	総務担当(兼事務局長)	原 克 己
理 事	法務担当	山 下 勝 彦
監 事	業務監査	脇 田 稔
監 事	会計監査	川 崎 孝 雄

経営協議会委員

学 長		永 田 行 博
名古屋学芸大学長		井 形 昭 弘
鹿児島県副知事		市 橋 保 彦
京セラ株式会社名誉会長		稲 盛 和 夫
福岡市健康づくり財団理事長		坂 本 雅 子
鹿児島商工会議所副会頭		諏 訪 秀 治
鹿児島テレビ放送株式会社 代表取締役社長		山 元 強
鹿児島県医師会会長		米 盛 學
理 事		矢 野 利 明
理 事		竹 田 靖 史
理 事		鉦之原 昌
理 事		原 克 己
理 事		山 下 勝 彦
医学部・歯学部附属病院長		高 松 英 夫

教育研究評議会評議員

学 長		永 田 行 博
理 事		矢 野 利 明
理 事		種 村 完 司
理 事		竹 田 靖 史
理 事		原 克 己
法文学部		木 部 暢 子 飯 田 泰 雄
教育学部		河 原 尚 武 内 田 芳 夫

理学部		面 清	高 原 俊 貞	宏 夫
医学部		小 坂 田 江	清	紘 弘
歯学部		西 鳥 川 居	殷 光	維 男
工学部		皆 福 川 井	洋 泰	一 好
農学部		前 田 芳	元 實 泉	
水産学部		松 岡 達 郎	田 中 淑 人	
医学部・歯学部附属病院長		高 松 英 夫		
大学院医歯学総合研究科長		吉 田 浩 己		
大学院司法政策研究科長		緒 方 直 人		
大学院連合農学研究科長		青 木 孝 良		
附属図書館長		早 川 勝 光		
学内共同教育研究施設代表者		宮 崎 智 行		
教育センター長		根 建 心 具		

学長補佐

産学官連携担当		安 部 淳 一
教育・学生担当		阿 部 美 紀 子
教員養成改革担当		梅 野 正 信
就職支援担当		大 坪 治 彦
評価担当		島 秀 典
研究戦略担当		隅 田 泰 生
情報担当		仙 波 伊 知 郎
財務・環境担当		友 清 貴 和
広報担当		中 島 あ や 子
将来構想担当		馬 場 昌 範

事務局

事務局長		原 克 己
総務部長		川 崎 幸 一
総務課長		石 田 澄 夫
企画評価課長		福 澤 達 弘
人事課長		安 倍 武 司

学術国際部長	吉 良 知 哲
研究協力課長	村 尾 忠 男
国際事業課長	縣 猛 男
留学生課長	川 内 輝
財務部長	上 田 寿 俊
財務課長	溝 口 寛 士
経理課長	住 吉 重 之
学生部長	金 子 良 一
教務課長	飯 干 秀 徳
学生生活課長	内 山 修 一
入試課長	向 井 豊 実
施設部長	佐 藤 政 弘
企画課長	村 永 哲 男
建築課長	梅 宮 兵 衛
設備課長	中 山 壯太郎

学内共同教育研究施設等

附属図書館

附属図書館長	早 川 勝 光
桜ヶ丘分館長	原 田 秀 逸
水産学部分館長	坂 田 泰 造
事務部長	寺 垣 敏 司
情報管理課長	古 賀 幸 成
情報サービス課長	吉 田 英 明
保健管理センター所長	森 岡 洋 史
多島圏研究センター長	富 永 茂 人
留学生センター長	大 嶋 眞 紀
総合研究博物館長	大 木 公 彦
学術情報基盤センター長	中 山 茂
副センター長	升 屋 正 人
生涯学習教育研究センター長	原 口 泉
教育センター長	根 建 心 具
副センター長	佐 藤 宗 治
稲盛経営技術アカデミー長	矢 野 利 明
フロンティアサイエンス 研究推進センター長	宮 崎 智 行
産学官連携推進機構長	竹 田 靖 史
埋蔵文化財調査室長	新 田 栄 治

学 部 等

法文学部

学部長	木 部 暢 子
副学部長	飯 田 泰 雄
副学部長	北 崎 浩 嗣
事務長	肥 後 博 文

教育学部

学部長	河 原 尚 武
副学部長	内 田 芳 夫
副学部長	八 田 明 夫
事務長	徳 重 潔
附属教育実践総合センター長	松 田 君 彦
附属小学校長	西種子田 弘芳
附属中学校長	園 屋 高 志
附属養護学校長	畠 澤 郎
附属幼稚園長	西種子田 弘芳

理学部

学部長	面 高 俊 宏
副学部長	清 原 貞 夫
副学部長	宮 嶋 公 夫
副学部長	坪 井 昭 二
事務長	上 村 悦 男
附属南西島弧地震火山観測所長	宮 町 宏 樹

医学部

学部長	小 田 紘
副学部長	坂 江 清 弘
副学部長	丸 山 征 郎
副学部長	濱 田 博 文

歯学部

学部長	西 川 殷 維
副学部長	鳥 居 光 男
副学部長	植 村 正 憲
副学部長	長 岡 英 一

医学部・歯学部附属病院

病院長	高松英夫
副病院長(医科担当)	熊本一朗
副病院長(歯科担当)	鳥居光男
薬剤部長	山田勝士
看護部長	亀割成子
臨床技術部長	富吉司
事務部長	岩切憲保
経営企画課長	九法成男
総務課長	溝口陸奥夫
管理課長	川口幸一
医務課長	市山郁夫

工学部

学部長	皆川洋一
副学部長	福井泰好
副学部長	河野健二
副学部長	住吉文夫
副学部長	大木章
事務長	住田義久

農学部

学部長	前田芳實
副学部長	岩元泉
副学部長	岡達三
附属農場長	坂田祐介
附属演習林長	馬田英隆
附属動物病院長	三角一浩
事務長	東繁

水産学部

学部長	松岡達郎
副学部長	田中淑人
副学部長	山本淳
附属練習船かごしま丸船長	益満侃
附属練習船南星丸船長	東政能
附属海洋資源環境教育研究センター長	小山次朗
事務長	松尾博之

大学院

人文社会科学研究科長	木部暢子
教育学研究科長	河原尚武
保健学研究科長	坂江清弘
理工学研究科長	皆川洋一
農学研究科長	前田芳實
水産学研究科長	松岡達郎

大学院医歯学総合研究科

研究科長	吉田浩己
副研究科長	松山隆美
副研究科長	杉原一正
副研究科長	榮鶴義人
副研究科長	仙波伊知郎
附属難治ウイルス病態制御研究センター長	出雲周二

医歯学総合研究科等事務部

事務部長	西村司郎
総務課長	田多園文雄
学務課長	濱田道夫

大学院司法政策研究科

研究科長	緒方直人
副研究科長	久保次三
副研究科長	佐野裕志

大学院連合農学研究科

研究科長	青木孝良
------	------

教育センター

教育センターは平成15年に設置されました。その任務は「鹿児島大学の教育の充実・発展」と「共通教育の実施」です。

共通教育は旧制第七高等学校時代以来、連綿と引き継がれてきた学士課程教育で、幅広い知識・教養・技能等を有するとともに、進取の精神、自主自律の精神に富み、深い歴史感覚、鋭い現実感覚、高い公共意識に裏付けられた判断力と構想力を有する個性豊かな人材の育成を目指しています。どの学部の学生にも必要な大学教育の大きな柱のひとつです。

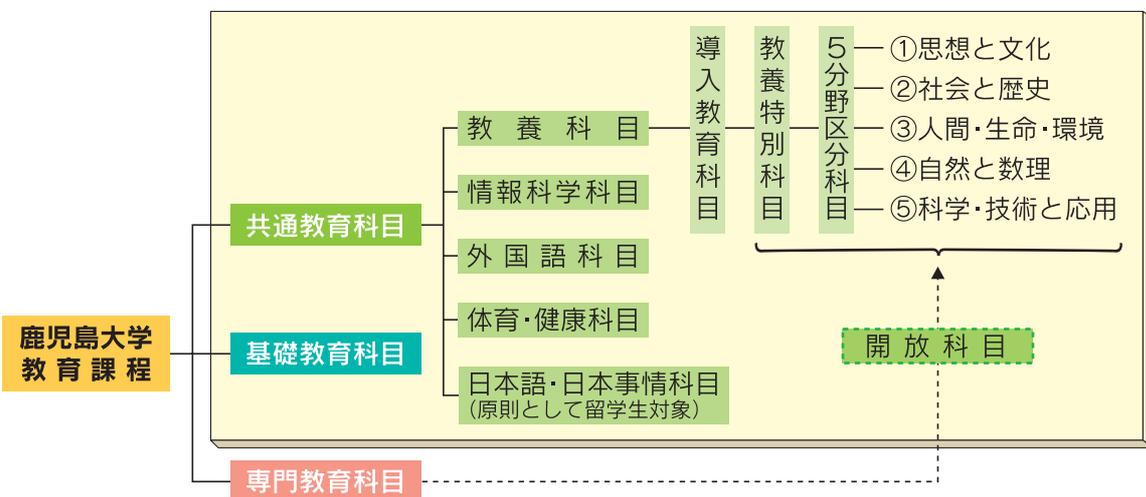
教育センターには、共通教育(それに基礎教育)を統括・推進するだけでなく新しい任務が加わりました。それは鹿児島大学の教育の充実・発展のために、高等教育の研究開発を行い、外国語教育を推進し、ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を全学的に進めることです。



教育センターの組織構成

【共通教育企画実施部】	共通教育科目(教養科目、情報科学科目、外国語科目、体育・健康科目、日本語・日本事情科目)と、基礎教育科目の研究開発・実施
【高等教育研究開発部】	高等教育の教育方法・教育支援・FDの研究開発、授業改善・教育評価・自己点検などの研究開発
【外国語教育推進部】	全学の外国語教育の研究・改善・提言およびカリキュラム開発

鹿児島大学教育課程 (大きな枠内が教育センターの教育)



学 部	学科又は課程	講 座 又 は 学 科 目
法 文 学 部	法 政 策 学 科 経 済 情 報 学 科 人 文 学 科	政策科学、市民法、法交渉 経済システム、経営情報、地域計画、国際協力 人間科学、地域環境、日本・アジア総合文化、ヨーロッパ・アメリカ総合文化
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 養護学校教員養成課程 生涯教育総合課程	国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、 技術教育、家政教育、英語教育、学校教育
理 学 部	数 理 情 報 学 科 物 理 学 科 生 命 化 学 科 地 球 環 境 学 科	数理構造、現象数理、情報数理 物性理論、固体物理、宇宙情報 分子機能化学、有機生化学、生命機能 地質科学、島弧火山、環境解析、多様性生物学
医 学 部	医 学 科 保 健 学 科	医学概説学、疾病病因学、疾病病態学、医学実践学、臨床実践学 総合基礎看護学、臨床看護学、母性・小児看護学、地域看護・看護情報学、 基礎理学療法学、臨床理学療法学、基礎作業療法学、臨床作業療法学
歯 学 部	歯 学 科	歯科常態学、歯科病態学、発達育成歯科学、口腔顎顔面歯科学
工 学 部	機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 建 築 学 科 応 用 化 学 工 学 科 海 洋 土 木 工 学 科 情 報 工 学 科 生 体 工 学 科	設計生産システム工学、エネルギーシステム工学 電子物性デバイス工学、電気エネルギー工学、通信システム工学 建築構造構成学、居住環境構成学 分子工学、機能材料工学、化学システム工学 環境システム工学、建設システム工学 知能情報工学、情報システム工学 生体機能材料、生体電子工学
農 学 部	生 物 生 産 学 科 生 物 資 源 化 学 科 生 物 環 境 学 科 獣 医 学 科	作物生産学、園芸生産学、病虫害制御学、家畜生産学、農業経営経済学 生命機能化学、食品機能化学、食糧生産化学 森林管理学、地域資源環境学、環境システム学、生産環境工学 基礎獣医学、病態・予防獣医学、臨床獣医学
水 産 学 部	水 産 学 科 水産教員養成課程	環境情報科学、漁業基礎工学、海洋社会科学、資源育成科学、資源利用科学

研究科	専攻	講座(授業科目名等)
人文社会科学研究所 (博士前期課程)	法学専攻 経済社会システム専攻 人間環境文化論専攻 国際総合文化論専攻 臨床心理学専攻	政策科学、市民法、法交渉 経済システム、経営情報、地域計画、国際協力 人間科学、地域環境 日本・アジア総合文化、ヨーロッパ・アメリカ総合文化 臨床心理学
人文社会科学研究所 (博士後期課程)	地域政策科学専攻	地域政策、文化政策
教育学研究所 (修士課程)	学校教育専攻 教科教育専攻	国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、 技術教育、家政教育、英語教育、学校教育
保健学研究所 (博士前期・後期課程)	保健学専攻	総合基礎看護学、臨床看護学、母性・小児看護学、地域看護・看護情報学、 基礎理学療法学、臨床理学療法学、基礎作業療法学、臨床作業療法学
理工学研究所 (博士前期課程)	機械工学専攻 電気電子工学専攻 建築学専攻 応用化学工学専攻 海洋土木工学専攻 情報工学専攻 生体工学専攻 ナノ構造先端材料工学専攻 数理情報科学専攻 物理学専攻 生命化学専攻 地球環境科学専攻	設計生産システム工学、エネルギーシステム工学 電子物性デバイス工学、電気エネルギー工学、通信システム工学 建築構造構成学、居住環境構成学 分子工学、機能材料工学、化学システム工学 環境システム工学、建設システム工学 知能情報工学、情報システム工学 生体機能材料、生体電子工学 ナノ融合材料工学、生体適合材料工学 数理構造、現象数理、情報数理 物性理論、固体物理、宇宙情報 分子機能化学、有機生化学、生命機能 地質科学、島弧火山、環境解析、多様性生物学
理工学研究所 (博士後期課程)	物質生産工学専攻 システム情報工学専攻 ナノ構造先端材料工学専攻 生命物質システム専攻	機能物質工学、構造設計工学、生産プロセス工学 知能情報工学、システム制御工学、環境システム工学 ナノ融合材料工学、生体適合材料工学 生体物質科学、生命環境科学
農学研究所 (修士課程)	生物生産学専攻 生物資源化学専攻 生物環境学専攻	作物生産学、園芸生産学、病害虫制御学、家畜生産学、農業経営経済学 生命機能化学、食品機能化学、食糧生産化学 森林管理学、地域資源環境学、環境システム学、生産環境工学
水産学研究所 (修士課程)	水産学専攻	環境情報科学、漁業基礎工学、海洋社会科学、資源育成科学、資源利用科学
医歯学総合研究所 (修士課程)	医科学専攻	注(1) 科学・医療倫理学、疾病論・病因論、医科学論、医科学研究、臨床薬剤学概論、 医療総合実習等
医歯学総合研究所 (博士課程)	健康科学専攻 先進治療科学専攻	人間環境学、社会・行動医学、感染防御学、発生発達成育学、 国際島嶼医療学(プロジェクト講座)、宇宙環境医学(連携講座) 神経病学、感覚器病学、運動機能修復学、循環器・呼吸器病学、生体機能制御学、 顎顔面機能再建学、腫瘍学、再生・再建移植学(プロジェクト講座)
司法政策研究所 (専門職学位課程)	法曹実務専攻	法曹実務
連合農学研究所 (博士課程)	生物生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 生物環境保全科学専攻 水産資源科学専攻	注(2) 植物生産学、動物生産学、農林資源・経営学、熱帯資源生物学 応用生物化学、資源利用化学、生物機能開発学 生物環境保護学、生物生産工学 海洋生産環境学、水産資源利用学

注(1)医歯学総合研究所(修士課程)医科学専攻は授業科目等を表す。

注(2)連合農学研究所(博士課程)は、連合講座名を表す。

法文学部

人文社会科学研究科

Faculty of Law, Economics and the Humanities



平成18年度奄美サテライト教室

法文学部は、第七高等学校を母体として設置された「文理学部」を改組し、昭和40年4月から法学科、経済学科及び文学科の3学科をもって発足しました。昭和54年4月の改組により文学科は人文学科に、平成9年4月の改組により、法学科は法政策学科に、経済学科は経済情報学科になりました。また、昭和54年4月、法学研究科(修士課程)法学専攻が設置され、昭和61年4月には人文科学研究科(修士課程)が設置されました。なお、平成10年4月には、法学研究科と人文科学研究科を発展的に解消し、人文社会科学研究科(博士前期課程)を設置し、法学、経済社会システム、人間環境文化論、国際総合文化論の4専攻を設け、更に平成14年4月には臨床心理学専攻を設置し5専攻となりました。なお、平成15年4月から博士後期課程の地域政策科学専攻を設置し、博士課程の学生を受け入れています。

法文学部 / 学科と講座

法政策学科

政策科学
市民法
法交渉

経済情報学科

経済システム、経営情報、
地域計画、国際協力

人文学科

人間科学、地域環境、
日本・アジア総合文化、
ヨーロッパ・アメリカ総合文化

人文社会科学研究科 / 課程と専攻

博士前期課程

法学、経済社会システム、人間環境文化論
国際総合文化論、臨床心理学

博士後期課程

地域政策科学

教育学部

教育学研究科

Faculty of Education



絵画の授業風景

教育学部は、明治の小学校授業講習所・師範学校以来、鹿児島県をはじめとする教育界や各界に幾多の有益な人材を輩出してきました。学部は小・中・高等学校の教員を養成する学校教育教員養成課程、養護学校の教員を養成する養護学校教員養成課程と社会教育分野などの指導者養成を専門とする生涯教育総合課程の三課程で構成されています。

大学院教育学研究科は、学部卒業生等や小・中・高・養護学校の現職教員を対象に、広い視野にたった精深な学術を修め、教育の諸分野に関する高度の専門的学識を養い、現代の複雑な教育の諸問題に的確に対応できる人材を育成することを目的とし、大学院修学休業制度、夜間開講、長期履修生制度などの就学上の特例措置があり、現職の教員や社会人にも学びやすい条件が整えられています。

教育学部 / 課程と講座（専修）

学校教育教員養成課程

国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、英語教育、教育学、心理学

養護学校教員養成課程

障害児教育

生涯教育総合課程

地域社会教育
国際理解教育
健康教育

附属教育研究施設

小学校、中学校、養護学校、幼稚園、教育実践総合センター、寺山自然教育研究施設

教育学研究科 / 課程と専攻

修士課程

学校教育専攻、教科教育専攻

教育学部・附属学校

Faculty of Education

附属小学校

附属小学校は、創立129周年を迎え、児童数980名(学級数27)で国立大学法人の附属小学校の中でも全国一の規模を誇る学校です。小学校教育に関する理論的・実践的な研究の推進、教育実習生の指導の充実、研究や実践の公開による本県の小学校教育向上への貢献という3つの使命を持ち、特に、複式教育や英会話における先進的な研究、実践で高い評価を得ています。



附属中学校

附属中学校は、創立56周年を迎え、596名の生徒が在籍しています。本校は、学部と一体となり中学校教育に関する理論的・実践的研究を行う。学部の計画に従い、学生の教育実習の場としてその指導に当たる。研究会、共同研究等の教育交流を通して、現職教育の振興に寄与する。という三つの使命を果たすべく日々前進する学校です。



附属養護学校

本校には、知的障害を主な障害とする小学部・中学部・高等部の児童生徒61名が在籍しています。特別支援教育の理念の下、子どもたちの豊かな生活を目指し、大学をはじめとする関係機関との連携を図りながら一人ひとりのニーズに応じた、きめ細やかな教育実践を積み重ね、地域の特別支援教育のセンター的な役割も担っています。



附属幼稚園

明治12年4月創立の附属幼稚園は、全国で2番目に古い歴史をもつ幼稚園です。今年度は、3歳児20人、4歳児36人、5歳児32人、計3学級88人が在籍しています。研究主題に「確かな学びを育む(三年次)」を掲げ、学部と連携し研究を深めるとともに、親と子が共に育つ場としての幼稚園をめざしています。



理学部

理工学研究科

Faculty of Science



野外実習風景

理学部は第七高等学校に源を發し、自然科学の基礎分野を教育研究の対象とする南九州唯一の学部であり、大学院(理工学研究科<博士前期課程・後期課程>)も設置されています。国立天文台等の研究機関と連携した教育研究や、南九州という地理的特性を生かした多様な自然環境に関連した研究等が推し進められており、地域社会とも密接な関係を持ちながらその発展に貢献しています。理学部は、専門分野での深い知識と、広く科学的に考える能力とを併せ持った人材を育成することをその教育目標としています。

理学部 / 学科と講座

数理情報科学科

数理構造
現象数理
情報数理

物理科学科

物性理論
固体物理
宇宙情報

生命化学科

分子機能化学
有機生化学
生命機能

地球環境科学科

地質科学、島弧火山、
環境解析、
多様性生物学

附属教育研究施設

南西島弧地震火山観測所

理工学研究科 / 課程と専攻

博士前期課程

機械工学、電気電子工学、建築学、応用化学工学、
海洋土木工学、情報工学、生体工学、
ナノ構造先端材料工学、数理情報科学、物理科学、
生命化学、地球環境科学

博士後期課程

物質生産工学、システム情報工学、
ナノ構造先端材料工学、生命物質システム

医学部

保健学研究科
Faculty of Medicine



外科手術見学



看護学内実習

医学部は、明治2年にウィリアム・ウィリスを校長として設立された島津藩医学校を前身とし、昭和18年に医学科の母体となる県立鹿児島医学専門学校が開校されました。その後幾多の変遷をたどり、平成10年には保健学科が設置され、現在では医学科と保健学科の2学科で構成されています。この間、多くの人材を輩出し、日本各地で医学医療の進歩と国民の健康と福祉のため多大な貢献をしています。本学部では、人間性豊かな、地域に貢献する、研究心旺盛な、国際的視野に立つ医学・医療を担う人を育成することを目指しています。

医学部 / 学科と学科目

医学科	保健学科		
医学概説学 疾病病因学 疾病病態学 医学実践学 臨床実践学	看護学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
	総合基礎看護学 臨床看護学 母性・小児看護学 地域看護・看護情報学	基礎理学療法学 臨床理学療法学	基礎作業療法学 臨床作業療法学

附属教育研究施設

医学部・歯学部附属病院

保健学研究科 / 課程と領域・分野

博士前期課程

看護学領域：基礎看護・地域看護学分野、臨床看護学分野
理学療法・作業療法学領域：理学療法学分野、作業療法学分野

博士後期課程

保健看護学分野、神経運動障害基礎学分野、臨床精神神経障害学分野

歯学部

Faculty of Dentistry



口腔外科手術



実習風景

歯学部は、沖縄を含む南九州全域における歯科医学の教育、研究の中核的役割を果たすべく、昭和52年10月に設置されました。本学部では、う蝕、歯周疾患、咬合異常、歯の欠損、口腔領域の外傷・形成不全・疼痛・腫瘍などの原因を究明し、これら症状の予防法と治療法を確立していくとともに、歯科医学を通して地域的にも国際的にも十分に貢献しうる人材を育成することを目標としています。共通・教養教育や基礎医学・隣接臨床医学教育にも力を注ぐとともに、良識ある人間形成に繋がる教育を心掛け、全人的歯科医療人の育成を目指しています。

歯学部 / 学科と学科目

歯学科

歯科常態学、歯科病態学、発達育成歯科学、口腔顎顔面歯科学

附属教育研究施設

医学部・歯学部附属病院

医学部・歯学部附属病院

University Hospital,
Faculty of Medicine and Dentistry

医学部・歯学部附属病院は、医学部と歯学部の両病院を統合し、診療科を疾患機能別の17にセンター化することなど組織の見直しを図り、これまで以上に、患者さん本位の医療の推進と高度医療の開発提供、効率的・機能的な病院運営を実現し、更なる地域医療における役割を充実させることを目指し、平成15年10月1日から「鹿児島大学病院」として新たにスタートしました。

診療センター	部門科	中央診療施設等
循環器センター	心臓血管内科 心臓血管外科	検査部 手術部 放射線部 医療器材管理部 救急部 集中治療部 輸血部 医療情報部 周産母子部 全身管理歯科治療部 血液浄化療法部 病理部 光学医療診療部 歯科技工室 病歴管理室 リハビリテーション室 中央採液室 臨床心理室 歯科総合診療部 治験管理部 遺伝カウンセリング室 卒後臨床研修部 クオリティ・マネジメント部 離島・地域医療連携部 医療相談室 摂食栄養相談室
消化器センター	消化器内科 消化器外科	
脳・神経センター	神経内科 脳神経外科	
呼吸器・ストレスケアセンター	呼吸器内科 呼吸器外科 心身医療科	
腎臓・泌尿器センター	腎臓内科 泌尿器科	
血液・内分泌・糖尿病センター	血液・膠原病内科 糖尿病・内分泌内科 乳腺・内分泌外科	
メンタルケアセンター	神経科精神科	
小児診療センター	小児科 小児外科	
女性診療センター	産科、婦人科	
整形・運動機能センター	整形外科・リウマチ外科	
感覚器センター	皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	
放射線診療センター	放射線科 顎顔面放射線科	
麻酔全身管理センター	麻酔科 歯科麻酔科	
リハビリテーションセンター	リハビリテーション科	
発達系歯科センター	口腔保健科 矯正歯科 小児歯科	
成人系歯科センター	保存科 歯周病科 冠・ブリッジ科 義歯補綴科	
口腔顎顔面センター	口腔外科 口腔顎顔面外科	
		薬 剤 部
		看 護 部
		臨床技術部
		事 務 部



医科診療棟



歯科診療棟



霧島リハビリテーションセンター

医学部・歯学部附属病院患者数

(平成17年度)

医 科 部 門				歯 科 部 門			
診 療 科 名	患 者 数		病床数	診 療 科 名	患 者 数		病床数
	入 院	外 来			入 院	外 来	
内 科	50,469	63,189	149	口 腔 保 健 科	-	6,843	40
神 經 科 精 神 科	12,895	14,368	45	保 存 科	-	9,811	
小 児 科	11,953	11,043	41	歯 周 病 科	4	17,770	
外 科	35,900	15,514	107	冠 ・ プ リ ッ ジ 科	-	12,766	
脳 神 經 外 科	7,675	5,034	28	義 歯 補 綴 科	-	12,268	
整 形 外 科 ・ リ ウ マ チ 外 科	17,920	14,028	50	口 腔 外 科	6,055	8,367	
皮 膚 科	8,547	15,393	30	口 腔 顎 顔 面 外 科	5,952	9,143	
泌 尿 器 科	8,925	8,143	29	矯 正 歯 科	-	8,732	
眼 科	11,124	20,944	39	小 児 歯 科	86	8,775	
耳 鼻 咽 喉 科 ・ 頭 頸 部 外 科	10,588	14,355	34	顎 顔 面 放 射 線 科	-	3,960	
放 射 線 科	7,647	7,410	23	歯 科 麻 酔 科	-	1,403	
産 婦 人 科	16,303	12,751	53	全 身 管 理 歯 科 治 療 部	-	546	
麻 酔 科	1,498	4,888	4	歯 科 総 合 診 療 部	-	3,319	
小 児 外 科	3,042	3,118	11	計	12,097	103,703	
心 身 医 療 科	1,735	10,546	5				
リハビリテーション科	16,544	10,319	50				
放 射 線 治 療 室	-	-	3				
集 中 治 療 室	-	-	8				
計	222,765	231,043	709				

(注) は再掲
 共通 内訳(結核13床、感染7床、特別室6床)
 内科...心臓血管内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、
 血液・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科
 外科...心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科
 産婦人科...産科、婦人科

工学部

理工学研究科
Faculty of Engineering



プログラミング演習風景

昭和24年4月鹿児島県立大学の発足に伴い、鹿児島県立工業専門学校を母胎として工学部が設置され、同30年県立から国立移管され鹿児島大学工学部となりました。

工学部は、工学を支える基礎研究の中核及び国際的視野をもった技術者の養成機関として、広い視野と解決能力のある柔軟な頭脳をもつ研究者・技術者の養成を目指しています。また、これまで以上に国際的に通用する技術者の育成を目指して、各学科で教育課程の見直し等を行い、JABEE(日本技術者教育認定機構)への認定に向けて取り組みを行っており、平成18年4月現在、機械工学科・電気電子工学科・応用化学工学科(化学工学コース)、海洋土木工学科が認定を受けています。

工学部 / 学科と講座

機械工学科 設計生産システム工学 エネルギーシステム工学	電気電子工学科 電子物性デバイス工学 電気エネルギー工学 通信システム工学	建築学科 建築構造構成学 居住環境構成学
応用化学工学科 分子工学 機能材料工学 化学システム工学	海洋土木工学科 環境システム工学 建設システム工学	情報工学科 知能情報工学 情報システム工学
		生体工学科 生体機能材料 生体電子工学

理工学研究科 / 課程と専攻

博士前期課程 機械工学、電気電子工学、建築学、応用化学工学、 海洋土木工学、情報工学、生体工学、 ナノ構造先端材料工学、数理情報科学、物理科学、 生命化学、地球環境科学	博士後期課程 物質生産工学、システム情報工学、 ナノ構造先端材料工学、生命物質システム
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

農学部

農学研究科

Faculty of Agriculture



動物病院

農学部は、明治41年開設の国立鹿児島高等農林学校に始まり、昭和19年4月鹿児島農林専門学校と改称、昭和24年鹿児島大学農学部となりました。現在は、学部の上に修士課程(農学研究科)及び博士課程(連合農学研究科、連合獣医学研究科)が設置されています。自然環境に調和した食料生産技術の開発、生物機能の解明と応用、自然生態系の保全と修復、動物の医療技術および多面的機能の開発、農山村社会の活性化などに関する研究に取り組むとともに、新たな時代に向けた創造性豊かな人材の育成に努めています。



BSE対策研究室に設置された共焦点レーザー走査顕微鏡

農学部 / 学科と講座

生物生産学科

作物生産学
園芸生産学
病害虫制御学
家畜生産学
農業経営経済学

生物資源化学科

生命機能化学
食品機能化学
食糧生産化学

生物環境学科

森林管理学
地域資源環境学
環境システム学
生産環境工学

獣医学科

基礎獣医学
病態・予防獣医学
臨床獣医学

寄附講座

焼酎学(鹿児島県酒造組合連合会・鹿児島県)

附属教育研究施設

農場、演習林、動物病院

農学研究科 / 課程と専攻

修士課程

生物生産学、生物資源化学、生物環境学

水産学部

水産学研究科

Faculty of Fisheries



附属練習船南星丸

水産学部は、東南アジア・南太平洋を含む水域の陸水域から公海域までをフィールドとし、水産資源の持続的生産とその合理的利用、水圏環境の保全、生活文化の創出の分野で、地域社会と国際社会に貢献したいと考えています。食糧生産の確保と海洋環境の保全といった時代の要請に応えるため、高度で先端的な教育を受けた技術者を養成し、熱帯・亜熱帯水域を対象とする諸活動では世界をリードしています。平成15年には大学教育の分野では日本で初めて、国際的な品質基準であるISO9001認証を取得しました。

水産学部 / 学科等と講座

水産学科

水産教員養成課程

環境情報科学、漁業基礎工学、海洋社会科学、資源育成科学、資源利用科学

附属教育研究施設

附属練習船かごしま丸(1,297トン)、附属練習船南星丸(175トン)、附属海洋資源環境教育研究センター、資源利用科学実習工場、回流水槽実験室、鴨池海洋生産実験室

水産学研究科 / 課程と専攻

修士課程

水産学

大学院 医歯学総合研究科

Graduate School of Medical
and Dental Sciences



桜ヶ丘キャンパス全景



医歯学総合研究科棟(基礎医学系)(臨床医学系)

大学院医歯学総合研究科は、多様な社会的要請に迅速に対応し、高度な教育と先端的研究を効率的に実施、解決するために、1.生命科学領域の教育研究のリーダーの育成、2.地域の特性を生かした生命医療科学領域の教育研究拠点の創出、3.専門性を備えながら医の倫理観を備えた生命医療人の育成を目標にし、疾病の予防と治療を使命とする医学と歯学が有機的に結合され、より柔軟で広範な生命医療科学の発展が期待できる大学院組織として、平成15年4月に博士課程、平成16年4月には修士課程(医科学専攻)が設置されました。



医歯学総合研究科棟(歯学系)

大学院医歯学総合研究科 / 課程と専攻と講座

博士課程

健康科学専攻

人間環境学、社会・行動医学、感染防御学、発生発達成育学、国際島嶼医療学(プロジェクト講座)、宇宙環境医学(連携講座)

先進治療科学専攻

神経病学、感覚器病学、運動機能修復学、循環器・呼吸器病学、生体機能制御学、顎顔面機能再建学、腫瘍学、再生・再建移植学(プロジェクト講座)

修士課程

医科学専攻

寄附講座

臨床予防医療(新日本科学)、医療関節材料開発(日本メディカルマテリアル)

附属教育研究施設

難治ウイルス病態制御研究センター

大学院 司法政策研究科

Law School



テレビ会議システムを使った法情報論の講義

鹿児島大学法科大学院は、平成16年4月設置の3年制専門職大学院です。司法過疎と呼ばれる南九州に位置する法科大学院(司法政策研究科)として、これからの司法の在り方を構想、実現していく活動的な法曹を養成することを目的としています。修了者には法務博士の学位と新司法試験の受験資格が授与されます。学生定員30名、専任教員17名(兼担教員13名、兼任教員21名)という徹底した少人数教育を行い、法律実務家をめざす明確な問題意識や関心を育てつつ、新司法試験に合格するに十分な学力を涵養します。

大学院司法政策研究科(法科大学院)/課程と専攻

専門職学位課程(法務博士)

法曹実務

大学院 連合農学研究科

United Graduate School of
Agricultural Sciences

大学院連合農学研究科は佐賀大学、宮崎大学、琉球大学、鹿児島大学の各農学研究科及び鹿児島大学水産学研究科の修士課程の連携・協力の基に、それぞれの研究科の特徴と地域特性を生かした農学・水産学系の博士課程の大学院です。先端の生命科学から農・水産学の基本となる生命資源の利用と食糧生産、環境保全など社会貢献、国際貢献を主眼として教育・研究を行っています。資源利用化学連合講座には先端バイオテクノロジーの教育・研究を行う連携大学院〔タカラバイオ(株)〕を設置しています。博士論文提出後には農学・水産学・学術のいずれかの博士号が付与され、学位付与者は、教育職及び研究職など幅広い分野で活躍しています。



共通セミナー(一般風景)

大学院連合農学研究科 / 課程と専攻と連合講座

博士課程

生物生産科学専攻	生物資源利用科学専攻	生物環境保全科学専攻	水産資源科学専攻
植物生産学 動物生産学 農林資源・経営学 熱帯資源生物学	応用生物化学 資源利用化学 生物機能開発学	生物環境保護学 生物生産工学	海洋生産環境学 水産資源利用学

(注)連合農学研究科は、4大学(佐賀、宮崎、鹿児島、琉球)で構成

山口大学大学院 連合獣医学研究科

The united graduate school of veterinary sciences,
YAMAGUCHI UNIVERSITY(Doctoral course)

連合獣医学研究科は、平成2年4月に鹿児島大学、鳥取大学、山口大学及び宮崎大学が連合して設置された修業年限4年の博士課程で、基幹校は山口大学です。

本研究科は、1専攻(獣医学専攻)で、3連合講座から成り、学生の入学定員は12名であり、創造性豊かな研究者や高度の専門的知識と能力を有する人材を養成しています。学生1人につき、主指導教員1人、副指導教員2人が指導に当たりますが、他大学の教員並びに学生相互の討論を通して、自己を高めると同時に相互の親睦と連帯感の形成に役立っています。



山口大学大学院連合獣医学研究科 / 課程と専攻と連合講座

博士課程

獣医学専攻

基礎獣医学、病態・予防獣医学、臨床獣医学

(注)山口大学大学院連合獣医学研究科は4大学(鳥取、山口、宮崎、鹿児島)で構成

学内共同教育研究施設等

附属図書館

附属図書館は、中央図書館(郡元地区)、桜ヶ丘分館(桜ヶ丘地区)及び水産学部分館(下荒田地区)の3館で組織されており、教育・研究に必要な図書館資料を広い分野にわたり収集し利用に供している。利用者は、中央図書館及び二つの分館を共通に利用できる。

利用者サービスとしては、閲覧・貸出をはじめ、レファレンス・サービス、学外の図書館との文献複写・現物貸借を行っている。また、文献情報データベース、電子ジャーナル等の電子情報資料の整備充実に努めている。

【中央図書館】

開館時間

月～金曜日	土・日曜日
9:00～20:00	10:00～17:00

休館日

国民の祝日
年末年始等(12月27日～1月5日)

施設

鉄筋地上5階地下2階建
(平成8年12月竣工)

延床面積	12,697m ²
閲覧スペース	4,876m ²
サービススペース	1,808m ²
収蔵スペース	2,359m ²
事務室等	775m ²
その他	2,879m ²
総座席数	940席
収容可能冊数	941,680冊



【桜ヶ丘分館】

開館時間

月～金曜日	土・日曜日
9:00～21:00	10:00～18:00

休館日

国民の祝日
年末年始等(12月27日～1月5日)

施設

鉄筋3階建
(昭和52年4月竣工、昭和56年5月増築)

延床面積	1,980m ²
閲覧スペース	1,189m ²
サービススペース	159m ²
収蔵スペース	189m ²
事務室等	238m ²
その他	205m ²
総座席数	131席
収容可能冊数	192,000冊



【水産学部分館】

開館時間

月～金曜日	土曜日
9:00～20:00	10:00～17:00

休館日

日曜日、国民の祝日
年末年始等(12月27日～1月5日)

施設

鉄筋2階建
(昭和45年2月竣工)

延床面積	849m ²
閲覧スペース	307m ²
サービススペース	47m ²
収蔵スペース	248m ²
事務室等	113m ²
その他	134m ²
総座席数	52席
収容可能冊数	41,000冊



【平成17年度利用状況】

区 分	開館日数	総 入 館 者 数					
		平 日			土曜日	日曜日	合 計
		17:00まで	17:00以降	計			
中央図書館	304	272,218	84,357	356,575	22,699	20,554	399,828
桜ヶ丘分館	334	65,010	31,244	96,254	6,724	8,292	111,270
水産学部分館	283	30,044	6,815	36,859	2,213	—	39,072
合 計		367,272	122,416	489,688	31,636	28,846	550,170

【蔵 書】

図書(冊)

(平成18年4月1日現在)

区 分	総 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学	技 術	産 業	芸 術	言 語	文 学	合 計	
和漢書	中央図書館	65,985	43,009	75,895	203,810	112,076	72,831	55,464	29,176	27,561	70,035	755,842
	桜ヶ丘分館	1,024	1,812	686	5,373	89,996	1,187	367	626	1,741	1,347	104,159
	水産学部分館	1,805	441	1,507	10,302	11,800	7,516	12,646	820	1,098	592	48,527
	小 計	68,814	45,262	78,088	219,485	213,872	81,534	68,477	30,622	30,400	71,974	908,528
洋書	中央図書館	15,674	18,730	16,824	52,172	83,127	19,527	19,646	4,487	13,081	32,724	275,992
	桜ヶ丘分館	858	341	114	637	76,989	95	77	77	428	424	80,040
	水産学部分館	584	101	245	725	5,383	2,248	3,858	229	272	65	13,710
	小 計	17,116	19,172	17,183	53,534	165,499	21,870	23,581	4,793	13,781	33,213	369,742
合 計	85,930	64,434	95,271	273,019	379,371	103,404	92,058	35,415	44,181	105,187	1,278,270	

雑誌(種類数)

区 分	和雑誌	洋雑誌	合 計
中央図書館	15,812	7,508	23,320
桜ヶ丘分館	3,445	2,370	5,815
水産学部分館	2,274	1,031	3,305
合 計	21,531	10,909	32,440

【特殊文庫】

文庫名	内 容 等					
玉里文庫	島津久光及び玉里島津家の旧蔵書 久光の直筆本、島津家編輯本、和漢書の写本類、薩摩藩関係史誌、幕末洋学関係翻訳書の写本等 18,730冊					
岩元文庫	旧制第一高等学校教授であった岩元禎氏の旧蔵書 漢籍と文学・哲学関係の洋書 漢籍4,515冊、洋書826冊					
松本文庫	旧制第八高等学校漢文学教授であった松本亦一氏の旧蔵書 漢籍と和書、医書を多く含む 2,186冊					
小北文庫	旧制鹿児島高等農林学校長小出満二氏が渡豪中に実業家北村寅之助氏の助力を得て収集し、後に同校図書館に寄贈したオーストラリア、太平洋諸島関係洋書 686冊					
小野文庫	元法政大学教授小野武夫博士の旧蔵書 農業経済、農業史、地方史を中心とするコレクション 4,127冊					
鹿児島県地券台帳	明治15年鹿児島県における地券発行原簿のコレクション 出水、川辺、揖宿、肝属、大隅、熊本、馭謨、白杵の各郡が比較的まとまっている。附属資料として共有地台帳、地価修正一筆限帳等が含まれる 2,944冊					
諸家文書	市来家文書	105点	川田家文書	116点	木脇家文書	18点
	山田家文書	30点	寺尾家文書	387点	伊集院家文書	17点
	有馬家文書	61点	志々目家文書	37点	長野家文書	141点
	斑目家文書	17点	伊勢家文書	695点	新納家文書	122点
	肝付家文書	65冊	八田家文書	2巻(13点)		

フロンティアサイエンス研究推進センター

鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター(FSRC)は、鹿児島大学の戦略的研究を推進する中核的研究拠点としての学内共同教育研究施設として、アイソトープ総合センター、機器分析センター、生命科学資源開発研究センターを統合して平成17年4月に設置された。FSRCは、鹿児島大学における先端科学研究の推進、研究開発能力及び指導性を備えた若手研究者の育成並びに教育研究の支援を目的にしており、戦略的研究を推進する研究推進部門と学内の教育研究を支援する部門から成り立っている。

研究推進部門で実施される研究プロジェクトは、学部・研究科横断型であり、人材育成や外部資金の獲得に努めている。研究プロジェクトには研究資金や研究者の重点配分がなされ、ポストドク等若手研究員や大学院学生等を参加させることができる。

生命科学研究推進部門

本学における学術研究推進戦略の中心として、常識の限界を突破し、人類の夢への挑戦と実現をめざす生命科学に関する研究プロジェクトを学内から選抜し推進している。

平成17年度は、独創的な遺伝子改変技術により本学で独自に開発した解剖学的・生理学的特性がヒトに酷似したクラウン系医用ミニブタを用いて異種移植医療を実現し、再生移植医療におけるドナーの臓器不足という世界的な大問題の解決を目指す『異種移植プロジェクト』と、BSEの原因となり無害化処理が難しいタンパク質である異常プリオンを分解する酵素を発見した研究成果を生かし、さらに食の安全に繋がる技術への応用を試みるなど総合的な食環境の創成を図るプロジェクト『健やかな長寿社会を目指した機能的食環境の創成』の2つのプロジェクトが採択され、画期的な成果を上げつつある。

さらに平成18年度は、『医工連携による糖鎖を標的とした成人T型細胞白血病に対する治療法の開発研究』、『21世紀の農業を担う新技術開発に向けた先導研究 - 植物 - 微生物相互作用とホルモン農業の有効利用 - 』、『難治性神経代謝疾患のトランスレーショナルリサーチ - 遺伝的基盤解明、先端医療への応用とこころのケア』という3つのプロジェクトが採択され、今後の発展が期待されている。



クローンミニブタ(異種移植プロジェクト)

教育研究支援部門

教育研究支援部門には、アイソトープ総合実験室、機器分析室、遺伝子実験施設及び動物実験施設があり、それぞれに関連した分野の教育研究の支援を行っている。

アイソトープ総合実験室は、放射性同位元素及び放射線を利用する教育研究を推進するとともに、本学の放射線施設の安全管理に関し、中心的な役割を担っている。機器分析室は、大型・高性能機器の計画的導入及び集中管理による各種計測・分析機器の有効かつ円滑な共同利用を図り、学内の教育研究を支援している。遺伝子実験施設は、組換えDNA実験をはじめとした遺伝子に関連する教育研究及び安全管理を行っており、物理的封じ込めP3レベルまでの実験室や放射性同位元素(RI)を使用できる各種実験室等も整備されている。動物実験施設は、実験動物及び動物実験に関する教育研究、実験動物の品質管理及び安全管理を行い、動物福祉に配慮した動物実験の適正化を図っている。



プロテインシークエンサー(遺伝子実験施設)



X線光電子分析装置(機器分析室)

産学官連携推進機構

地域共同研究センター、知的財産本部及びベンチャー・ビジネス・ラボラトリーをより機能的かつ効率的な産学官連携活動を実施するために平成18年4月に統合したもの。

産学官連携部門

本部門は、本学で生まれた研究シーズと社会ニーズのマッチングを図り、民間企業等との共同研究等を通じた研究成果の社会還元、技術移転を推進している。

産学共同研究のコーディネートその他、地域産業界等からの技術相談への対応、公募事業等の獲得支援、自治体と共同した産学官プロジェクトの企画・立案などを行い、また大学の研究成果等の情報発信や、産学官交流活動を支援する。



産学官連携推進機構棟

知的財産部門

知的財産部門は、教育研究活動の中で生まれた発明等の知的財産を一元的に取り扱うとともに戦略的な推進を図っている。このため、各学部・研究科と連携して知的財産の創出、権利化及び活用を積極的に行い、更に、研究者及び学生に対する教育啓発活動を展開し、知的財産を通じた産学官連携活動により本学の社会貢献に寄与することを目指している。

ベンチャービジネス部門

ベンチャー企業や産学官連携事業のためのインキュベーション機能を有する教育研究施設。インキュベーションプロジェクトとしては、ナノバイオ関連及び社会科学関連の研究テーマも受け入れている。

(URL:<http://www.vbl.kagoshima-u.ac.jp/>)

ベンチャー創業時に必要な実践ビジネス教育プログラムを大学院科目として、開講している。

管理部門

機構の学内外総合窓口、機構の会議及び各種事務業務等を担う管理部門を置き、学術国際部研究協力課が担当している。

【鹿児島大学産学官連携推進機構ベンチャービジネス部門シリコンバレーオフィス】

平成16年12月、米国シリコンバレー地区に研究シーズの海外連携やビジネス教育の推進を目指して設立された本学初の海外拠点。米国の企業、大学等との共同研究や大学発ベンチャー創業のコンサルテーション業務やハイテク情報の提供を行う。



第1回鹿児島大学VBLシリコンバレーセミナーに参加した大学院生と教職員(平成17年3月)
事務所は本学OBの井手祐二氏が経営するピクセラ社の社屋の一部を貸与

稲盛経営技術アカデミー

平成17年4月に設置した稲盛経営技術アカデミーは、寄附講座「京セラ経営学講座(平成12年4月)」を拡大発展させた施設であり、京セラ(株)及び本学工学部の出身である京セラ(株)名誉会長の稲盛和夫氏からの寄附金を運用し、教育研究を実施している。

科学技術(理系)と社会経済システム(文系)に関するセンスを併せ持ったリーダーシップ・積極性を有する人材の育成および現代の若者に経営や技術だけでなく、人間の生き方、倫理学・哲学についても学んでいただく場である。



稲盛和夫氏

稲盛経営技術アカデミーの教育研究組織の概要は次のとおり。

経営フィロソフィー部門

【教育プログラムの特徴】

「人生と哲学」、「経営と哲学」、「技術と哲学」の3つのテーマに関する教育科目から構成され、広く一般にも通用するプログラムを提供する。

【開講科目】

- ベンチャービジネス論
(学部学生)
- ベンチャービジネス実践論
(大学院学生・社会人)
- 稲盛セミナー
(学部学生)

経営技術部門

【教育プログラムの特徴】

企業活動に必要な不可欠な知識やノウハウを取り入れた実践プログラムを提供する。特に技術経営(MOT)の講義を中心とし、高度専門職業人の養成に努めるとともに企業人の再教育も行う。

【開講科目】

- 実践経営論
(学部学生)
- ベンチャービジネス論I
(大学院学生)
- 経営実学(大学院学生・社会人)
- ベンチャービジネス論II
(大学院学生)

新産業創出部門

【教育プログラムの特徴】

大学が保有する知的財産の活用をはじめ、産学連携・地域振興を行うための実践学を学ぶ。また、キャリアデザインや海外研修も教育プログラムに取り入れる。

【開講科目】

- 特許出願・権利化・戦略構築実務論
(大学院学生・社会人)
- ストレスマネジメント論
(大学院学生・社会人)
- シリコンバレーセミナー
(大学院学生)
- ハイテクプロダクトデザイン
(大学院学生)

稲盛会館

稲盛和夫京セラ(株)名誉会長から寄贈されたもので、教育および学術の交流の場として本学の職員その他の関係者の利用に供することにより、本学の教育・研究の進展に資するとともに、学術および文化の向上に寄与することを目的としている。



日本を代表する著名な建築家安藤忠雄氏の設計
(地下1階～地上3階建、建面積810.40㎡、延面積1,628.85㎡)

保健管理センター

保健管理センターは、学生および教職員の心身の健康の保持並びにその増進を図ることを目的とし、保健管理に関する実施計画の立案等を行っている。

センターでは、専任の医師3名、看護師および保健師各1名の他、学医として学内の各科の専門医(内科、精神神経科、整形外科、眼科、耳鼻科、婦人科、歯科)による健康相談業務を行い、さらにカウンセラーとして法文学部と教育学部の心理学の教員、および、非常勤の臨床心理士が心理相談やカウンセリングにあっている。

また、禁煙サポートプログラムの開発、定期健康診断の予約システムの確立や診断結果のデータのデジタル化及びその結果解析など、調査研究も活発に行っている。

【業務内容】

- 定期健康診断ならびに臨時健康診断と事後指導
- 心理相談ならびに学生相談
- 一般診療、急性疾患に対する短期的投薬、他医療施設への紹介・受診指導
- 健康診断証明書発行
- 健康教育活動(学生・教職員への健康啓発講演会開催など)
- 保健管理に関する調査研究
- 環境衛生および伝染病予防に関する指導
- 保健管理センター年報の発行



学術情報基盤センター

学術情報基盤センターは、鹿児島大学の情報通信基盤を担う中核的組織として、教育研究用計算機システムおよびキャンパス情報ネットワークの運用管理及び大学全体の情報セキュリティ対策支援、IT相談等鹿児島大学の教育・研究業務全般の情報化支援に積極的に取り組んでいる。

センターには、情報通信基盤研究部門、メディア教育研究部門、学術情報資源研究部門の3部門が置かれ、6名の専任教員が情報通信技術に関する研究開発、情報通信技術を生かした地域との連携、企業との共同研究・共同開発及び研究成果の積極的な技術移転、マルチメディア情報基盤の研究開発、マルチメディア教材の研究開発、情報教育支援体制の整備による学内部局との連携、学術情報データの作成と蓄積に関する研究開発を推進すると共に学内の教育研究の高度情報化に指導的な役割を果たしている。



留学生センター

留学生センターは、外国人留学生及び海外留学を希望する本学の学生に、必要な教育及び指導助言等を行うことにより、本学における国際交流の推進に寄与することを目的として、平成12年4月に設置された。この目的のために、外国人留学生に対する、日本語日本文化教育、学習カウンセリング、地域社会との交流推進や、海外留学を希望する学生への情報提供などを行っている。



日本語の授業風景

生涯学習教育研究センター

当センターは、大学が蓄積する知的資源との関係から生涯学習を研究する。また各地域の特性に基づく生涯学習の課題と方法を、地域のニーズに従って、公開講座、セミナー、シンポジウムを提供し、指導者の養成も含め地域に貢献するセンターである。公開授業による大学開放も推進している。

(URL:<http://www.life.kagoshima-u.ac.jp>)



公開講座の様子

多島圏研究センター

アジア太平洋の多島域について、学際的な調査研究を実施して学術の国際交流を図り、これらの地域の福祉発展に寄与することを目的とし、学内外の協力者と連携協力しながら、フィールドワークを重視した研究活動に取り組んでいる。



ウリシー環礁調査風景

総合研究博物館

総合研究博物館は、学内の貴重な学術資料を一元的に整理・管理・展示公開して研究・教育に効果的に利用し、さらに広く一般社会へ学術標本に関する情報を発信する役割を担うことを目的として平成13年4月に設置された。

平成16年5月には、常設展示室を開設し、学術資料や研究の成果を一般にむけて公開している。



総合研究博物館常設展示室

埋蔵文化財調査室

埋蔵文化財調査室では、学内の施設整備に伴うキャンパス内遺跡の発掘調査を行い、そこから得られた埋蔵文化財の整理、研究、報告書作成を行っており、調査時には、一般市民むけの体験発掘や、遺跡見学会を開催している。



VBL棟建設時に検出された^竈壇

鹿児島大学東京リエゾンオフィス

鹿児島大学の首都圏における活動、情報の収集および発信等を活発に行うため、東京・芝浦(JR山手線 田町駅)のキャンパス・イノベーションセンター(CIC)内に設置されたオフィス。



国際戦略本部

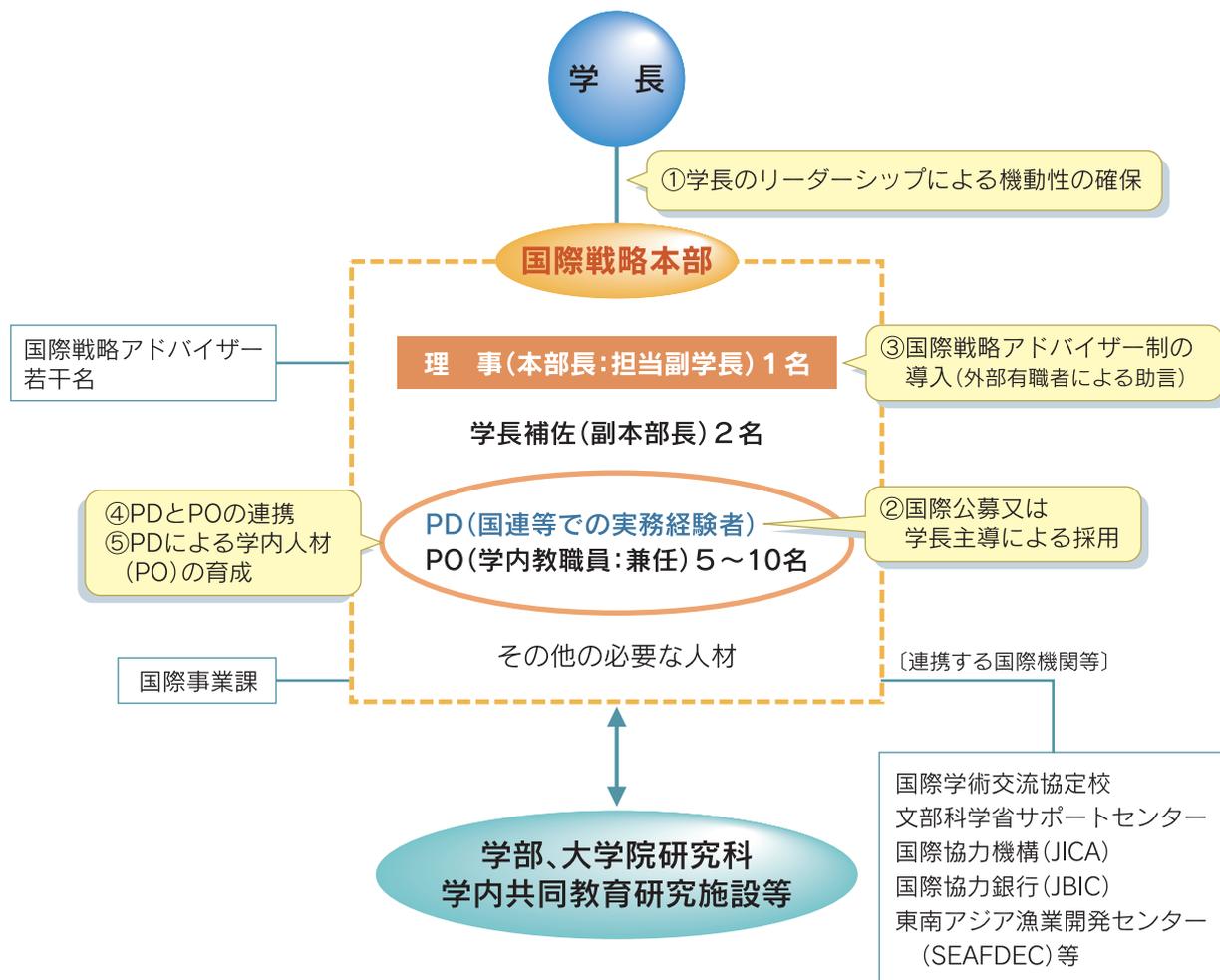
国際戦略本部(KUCIP : Kagoshima University Center for International Planning)は、**本学の教育研究の国際交流及び研究成果を基盤とした国際社会への貢献を戦略的に推進することにより、教育研究の国際的通用性の向上を図ることを目的とした中枢的組織として、平成17年9月に設置された。**

KUCIPは、副学長を本部長とし、専任職員2名及び学内の兼任職員を配置しており、組織的国際展開への求心力を高めるための国際戦略の策定とそれに必要なプログラム事業遂行のため、次の機能を有している。

- 教育研究に関する国際戦略の策定
- 教育研究の国際展開の企画・支援及び手法の開発
- 国際開発協力事業の企画・支援
- 世界の学術動向に関する調査
- 国際機関、海外大学等との連携強化
- 職員の国際業務のスキルアップ

また、これらの事業を推進するにあたり、適切な助言を得るため、国際経験豊富な学外有識者を「国際戦略アドバイザー」として委嘱している。

国際戦略本部 (KUCIP) の組織・運営体制



厚生施設等

大学会館

大学会館は、学生相互並びに学生と教職員間の人間関係を緊密にし、かつ、学生の教養を高め、豊かな人間性・社会性を涵養するための課外教育活動を盛んにし、また、その厚生福祉に寄与することを目的に、1号館が昭和47年3月、2・4号館が昭和36年5月、3号館が昭和37年8月に設置された。

開館時間は午前9時から午後9時まで、休館日は日曜日・祝日及び12月29日から翌年1月3日までとなっている。



建物名称	階別	施設名	用途等
1号館 (1,409m ²)	1	軽食堂	喫茶、食事 (64席)
		理髪室	理髪 (4台)
	2	共用談話室	休憩、談話 (52人)
		音楽鑑賞室	音楽鑑賞 (56人)
		会議室(1・2)	会議、研究会等 (42人・20人)
3	和室(1~5)	会議及び邦楽、茶道、華道等の練習	
	ホール	音楽会、講演会、研究会等 (300人)	
2号館 (779m ²)	音楽練習室(1・2)	音楽等練習	
	1	小集会室	会議、展示会等
3号館 (422m ²)	2	サークル連絡室	サークル活動
	1	大集会室	サークル活動
4号館 (448m ²)	1	大集会室	音楽会、講演会、映画会、研究会等 (500人)
	1	厚生センター	書籍、日用品等の購売

課外活動施設

課外活動(サークル)は、大学教育における人間形成の上で必要不可欠であり、各キャンパス毎に課外活動施設を有している。体育系サークルが利用する体育施設、文化系サークルが主に利用する大学会館(1~3号館)以外に、平成14年3月に設置された課外活動共用施設などがある。

課外活動共用施設は、サークル間の交流・連携の場(学生の交流プラザ)としての中庭を囲むようにして、防音設備完備の音楽練習室、シャワー室、共用ラウンジ、共用ミーティング室及びサークル室等を配置し、文化系、体育系合わせて90サークルが使用している。

施設名	所在地	備考
課外活動共用施設	郡元地区	文化系・体育系サークル
馬房(厩舎)	郡元地区	馬術
平川艇庫	平川町海岸	ヨット
磯艇庫	磯海岸	ボート
鴨池艇庫	鴨池臨海地	カッター



課外活動共用施設(サークル棟)

食堂



中央食堂



郡元南食堂

食堂名	延面積	席数	所在地
中央食堂	1,347m ²	506席	総合地区(郡元地区)
軽食堂(ガリア)	121m ²	52席	総合地区(郡元地区)
郡元南食堂	882m ²	186席	教育学部内(")
桜ヶ丘会館	417m ²	190席	医学部内(桜ヶ丘地区)
水産学部食堂	350m ²	128席	水産学部内(下荒田地区)

国際交流会館

国際交流会館は、本学の外国人留学生及び本学において教育・研究に従事する外国人研究者に対し居住の場を提供し、国際交流の促進に資することを目的に1号館が昭和54年4月に2号館が平成6年10月に設置された。



国際交流会館

(1号館)

室名	面積(m ²)	室数
単身室	12	35室
夫婦室	39	3室
家族室	59	2室
主事室	14	
事務室	16	
談話室	47	
娯楽室	94	
和室	25	
補食室	5~12	4室
浴室	3~8	4室
洗濯室	10	4室
管理人室	52	
倉庫	7	

(2号館)

室名	面積(m ²)	室数
単身室	12	30室
夫婦室	40	6室
家族室	58	4室
補食室	11	4室
洗濯・シャワー室	11	4室
ラウンジコーナー	39	
談話コーナー	14	

備考: 延面積 1,259m²
建物構造 RC4

備考: 延面積 1,430m²
建物構造 RC4

外国人研究者宿泊施設

鹿児島大学創立50周年記念事業の一環で寄付された外国人研究者のための宿泊施設で、平成15年12月に下荒田キャンパスに完成した。

建物は鉄骨造地上2階、延床面積502m²で長期滞在用と短期滞在用の計16室の単身室で構成され、各個室にはテレビ、冷蔵庫等が備えられている。



学生寮



棟名	区分		建物	延面積(m ²)	収容定員(名)
	A棟	B棟			
唐湊	A棟	B棟	鉄筋5階建	1,412	76
	B棟		"	1,568	92
寄宿舍	C棟		鉄筋2階建	629	64
	女子寮		鉄筋4階建	1,600	81
	共用棟		鉄筋1階建	317	
桜ヶ丘			鉄筋5階建	2,696	99
合計				8,222	412

体育施設

施設名	所在地	備考	施設名	所在地	備考
陸上競技場	郡元地区	400mトラック、夜間照明あり	弓道場	郡元地区	39m×14m
球技場	"	夜間照明あり	"	桜ヶ丘地区	38m×12m
亀ヶ原運動場	桜ヶ丘地区	野球場	室内プール	郡元地区	50m(7コース)
桜ヶ丘グラウンド	"	サッカー・ラグビー場			
テニスコート	郡元地区	8面、夜間照明あり			
"	桜ヶ丘地区	7面			
第1体育館	郡元地区	1,122m ²			
第2体育館	"	2,461m ²			
桜ヶ丘体育館	桜ヶ丘地区	1,072m ²			
武道館	郡元地区	391m ²			
医・歯学部課外活動施設(武道場)	桜ヶ丘地区	451m ²			



役員・教職員数

現員

(平成18年5月1日現在)

部局等	職別	学長	役員	教授	助教授	講師	助手	教諭	小計	事務職員 技術職員等	合計
学	長	1							1		1
役	員		8						8		8
事務局										163	163
国際戦略本部					1				1		1
附属図書館										18	18
桜ヶ丘分館										4	4
水産学部分館										2	2
保健管理センター				1	1		1		3	2	5
多島圏研究センター				3	1				4		4
留学生センター				2	2				4		4
総合研究博物館				1	3		1		5		5
学術情報基盤センター				3	2		1		6		6
生涯学習教育研究センター				1	1				2		2
教育センター				1	5				6		6
稲盛経営技術アカデミー				1	1				2		2
フロンティアサイエンス研究推進センター				4	4		2		10	6	16
産学官連携推進機構				1	1				2		2
埋蔵文化財調査室					1		1		2		2
法文学部				56	40		2		98	15	113
教育学部				59	33	1			93	24	117
附属教育実践総合センター				2	2				4		4
附属小学校								36	36	5	41
附属中学校								30	30	1	31
附属養護学校								27	27	1	28
附属幼稚園								4	4		4
理学部				34	28	3	8		73	14	87
附属南西島弧地震火山観測所					1		1		2	1	3
医学部				23	8	5	20		56	1	57
医学部・歯学部附属病院				2	8	45	93		148	688	836
工学部				47	41	2	29		119	45	164
農学部				44	43	1	11		99	23	122
附属農場				1	1		1		3	20	23
附属演習林				1	1				2	7	9
附属動物病院					1				1	2	3
水産学部				19	15	4	4		42	15	57
附属練習船かごしま丸					1	2	2		5	27	32
附属練習船南星丸					1	1			2	11	13
附属海洋資源環境教育研究センター				3	1		2		6	7	13
大学院人文社会科学研究科				4	1				5		5
大学院理工学研究科				7	4		4		15		15
大学院医歯学総合研究科				53	42	15	110		220	21	241
附属難治ウイルス病態臨床研究センター				4	3	1	1		9		9
医歯学総合研究科等事務部										42	42
大学院司法政策研究科				11	3				14		14
大学院連合農学研究科				(103) 1	(49)		(14)		(166) 1		(166) 1
計		1	8	(103) 389	(49) 301	80	(14) 294	97	(166) 1,170	1,165	(166) 2,335

(注) 書きは、兼職教員数を外数で示す。

学生の定員・現員

学 部

(平成18年5月1日現在)

学 部	学 科・課 程	入 学 定 員	3 年 次 編 入 学 員	現 員						
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
法文学部	法 政 策 学 科	95	10	107 (52)	105 (40)	107 (49)	169 (59)			488 (200)
	経 済 情 報 学 科	145		164 (83)	152 (71)	160 (79)	191 (77)			667 (310)
	人 文 学 科	155		170 (137)	163 (120)	186 (141)	223 (161)			742 (559)
	小 計	395		441 (272)	420 (231)	453 (269)	583 (297)			1,897 (1,069)
教育学部	学校教育教員養成課程	225		236 (124)	234 (116)	233 (113)	319 (143)			1,022 (496)
	養護学校教員養成課程	15		17 (15)	15 (9)	17 (10)	16 (11)			65 (45)
	生涯教育総合課程	35		43 (25)	44 (23)	41 (26)	51 (31)			179 (105)
	小 計	275		296 (164)	293 (148)	291 (149)	386 (185)			1,266 (646)
理学部	数理情報科学科	40		41 (5)	43 (5)	59 (5)	36 (7)			179 (22)
	物 理 科 学 科	45		50 (8)	50 (5)	65 (10)	55 (9)			220 (32)
	生 命 化 学 科	50		56 (27)	55 (22)	59 (24)	54 (27)			224 (100)
	地球環境科学科	50		55 (20)	55 (25)	76 (26)	56 (28)			242 (99)
	小 計	185		202 (60)	203 (57)	259 (65)	201 (71)			865 (253)
医学部	医 学 科	85	10	88 (33)	88 (25)	96 (32)	108 (34)	98(37)	102(33)	580 (194)
	保 健 学 科	120	20	120 (83)	122 (87)	132(103)	135(103)			509 (376)
	小 計	205	30	208 (116)	210 (112)	228(135)	243 (137)	98(37)	102(33)	1,089 (570)
歯学部	歯 学 科	55		55 (23)	56 (12)	54 (23)	51 (15)	63(21)	80(26)	359 (120)
工学部	機 械 工 学 科	94	10	122 (4)	118 (5)	119 (6)	85 (2)			444 (17)
	電 気 電 子 工 学 科	78		89 (4)	110 (8)	112 (1)	88 (4)			399 (17)
	建 築 学 科	55		67 (17)	70 (19)	83 (21)	61 (18)			281 (75)
	応用化学工学科	60		77 (12)	87 (15)	59 (10)	55 (17)			278 (54)
	海洋土木工学科	48		58 (4)	64 (9)	66 (6)	57 (5)			245 (24)
	情 報 工 学 科	60		78 (4)	68 (7)	78 (3)	76 (5)			300 (19)
	生 体 工 学 科	60		71 (21)	91 (27)	64 (28)	62 (22)			288 (98)
	小 計	455		562 (66)	608 (90)	581 (75)	484 (73)			2,235 (304)
農学部	生物生産学科	80		92 (37)	88 (44)	86 (33)	93 (37)			359 (151)
	生物資源化学科	60		68 (32)	62 (29)	71 (36)	70 (37)			271 (134)
	生物環境学科	65		65 (25)	71 (24)	67 (20)	72 (21)			275 (90)
	獣 医 学 科	30		33 (13)	33 (14)	34 (16)	32 (15)	33(17)	36(16)	201 (91)
	小 計	235		258 (107)	254 (111)	258 (105)	267 (110)	33(17)	36(16)	1,106 (466)
水産学部	水 産 学 科	130		136 (35)	133 (32)	130 (38)	161 (55)			560 (160)
	水産教員養成課程	10		14 (5)	12 (2)	13 (4)	16 (4)			55 (15)
	小 計	140		150 (40)	145 (34)	143 (42)	177 (59)			615 (175)
合 計		1,945	50	2,172 (848)	2,189 (795)	2,267 (863)	2,392 (947)	194(75)	218(75)	9,432 (3,603)

- (注) 1. ()は女子で内数
 2. 現員には外国人留学生を含む。
 3. 医学部医学科の編入学定員は2年次後期の編入学定員

大学院

(平成18年5月1日現在)

研究科	入学定員	現 員								合 計
		修士課程（博士前期）			博士課程（博士後期）又は専門職学位課程					
		1年	2年	計	1年	2年	3年	4年	計	
人文社会科学研究科	40	46 (26)	60 (32)	106 (58)						106 (58)
	6				10 (1)	7 (2)	14 (6)		31 (9)	31 (9)
教育学研究科	38	44 (21)	51 (17)	95 (38)						95 (38)
保健学研究科	22	26 (17)	30 (21)	56 (38)						56 (38)
	6				5 (2)	8 (4)			13 (6)	13 (6)
理工学研究科	216	280 (40)	277 (32)	557 (72)						557 (72)
	34				37 (8)	25 (4)	47 (1)		109 (13)	109 (13)
農学研究科	69	60 (20)	58 (27)	118 (47)						118 (47)
水産学研究科	32	22 (6)	32 (8)	54 (14)						54 (14)
医歯学総合研究科	20	15 (6)	13 (7)	28 (13)						28 (13)
	94				102 (30)	63 (25)	74 (16)	73 (22)	312 (93)	312 (93)
医学研究科	0							107 (17)	107 (17)	107 (17)
歯学研究科	0							2 (0)	2 (0)	2 (0)
司法政策研究科	30				30 (6)	28 (9)	31 (9)		89 (24)	89 (24)
連合農学研究科	23				54 (12)	35 (11)	86 (27)		175 (50)	175 (50)
計	630	493(136)	521(144)	1,014(280)	238 (59)	166 (55)	252 (59)	182 (39)	838(212)	1,852(492)
山口大学大学院連合獣医学研究科	12				4 (0)	3 (1)	4 (3)	6 (1)	17 (5)	17 (5)

(注) 1. ()は女子で内数

- 現員には外国人留学生を含む。
- 司法政策研究科は専門職学位課程（法科大学院）
- 連合農学研究科は鹿児島・佐賀・宮崎・琉球の4大学の構成によるもの。
- 山口大学大学院連合獣医学研究科の現員数は、鹿児島大学（指導教員）に属する学生数
- は旧研究科

大学院の社会人選抜入学者数

(平成18年5月1日現在)

研究科	平成18年度	
人文社会科学研究科	博士前期	5
	博士後期	5
教育学研究科		9
保健学研究科	博士前期	10
	博士後期	3
理工学研究科	博士前期	
	博士後期	11
農学研究科		
水産学研究科		1
医歯学総合研究科	修士課程	2
	博士課程	37
司法政策研究科		
連合農学研究科		5
計		88

現職教員も含む。

学生の定員・現員(大学院・附属学校)

附属学校

【教育学部附属小学校】

(平成18年5月1日現在)

	学級区分	入学定員	現 員						計	学 級 数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年		
附属小学校	普通学級	160	159	159	157	159	148	150	932	各学年4学級 計24学級
	複式学級	1年	8	8					48	1・2年で1学級
		2年	8		8					
		3年	8			8				3・4年で1学級 計3学級
		4年	8				8			
		5年	8					8		5・6年で1学級
		6年	8					8		
計	168	167	167	165	167	156	158	980		

【教育学部附属中学校】

(平成18年5月1日現在)

	学級区分	入学定員	現 員			計	学 級 数
			1年	2年	3年		
附属中学校	普通学級	200	200	196	200	596	各学年5学級 計15学級

【教育学部附属養護学校】

(平成18年5月1日現在)

	学級区分	入学定員	現 員						計	学 級 数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年		
附属養護学校	小学部	3	3	3	2	3	4	3	18	1・2学年で1学級 3・4学年で1学級 計3学級 5・6学年で1学級
	中学部	6	6	6	6				18	各学年1学級 計3学級
	高等部	8	8	9	8				25	各学年1学級 計3学級

【教育学部附属幼稚園】

(平成18年5月1日現在)

	入園定員	現 員				計	学 級 数
		3歳児	4歳児	5歳児			
附属幼稚園	3年保育	20				88	3歳児、4歳児、5歳児 各1学級 計3学級
	2年保育	15	20	36	32		

4歳児は3年保育進級児と2年保育入園児, 5歳児は4歳児の進級児

入学状況

学部

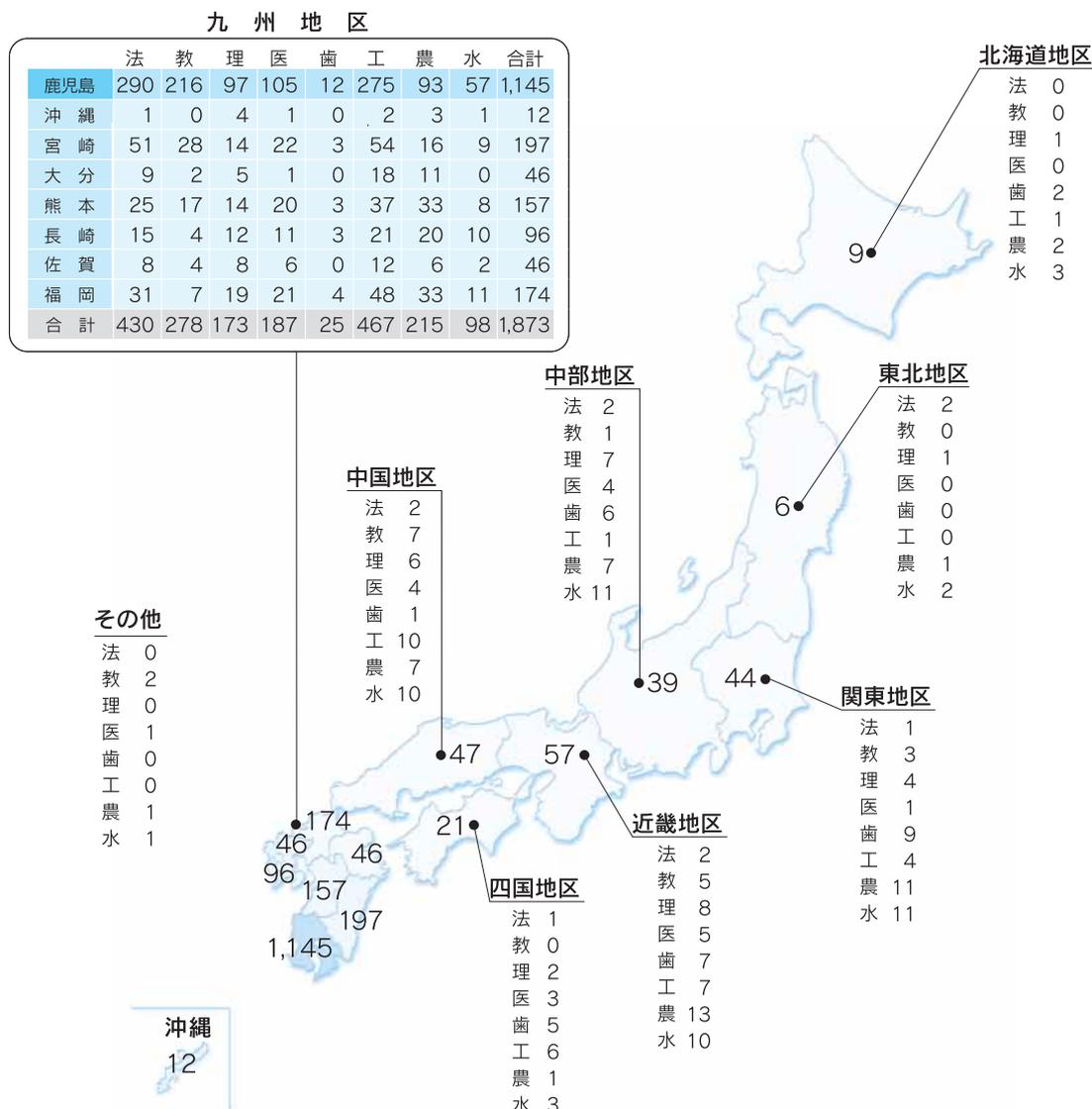
(平成18年5月1日現在)

学 部	入学定員	志 願 者 数	入 学 者 数	入学者の出身地別割合(%)	
				県 内	県 外
法 文 学 部	395	1,592 (906)	440 (272)	65.9	34.1
教 育 学 部	275	1,032 (532)	296 (164)	73.0	27.0
理 学 部	185	459 (136)	202 (60)	48.0	52.0
医 学 部	205	1,093 (521)	205 (114)	51.2	48.8
歯 学 部	55	319 (107)	55 (23)	21.8	78.2
工 学 部	455	1,269 (172)	496 (62)	55.4	44.6
農 学 部	235	855 (358)	258 (107)	36.0	64.0
水 産 学 部	140	528 (135)	149 (40)	38.3	61.7
合 計	1,945	7,147(2,867)	2,101 (842)	54.5	45.5

(注)()内は女子を内数で示す。
 (注) 私立外国人学部留学生を除く。

入学者出身地別内訳(出身高校等所在地による)

(注) その他は、高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)及び在外教育施設の出身者並びに帰国子女特別選抜による入学者を示す。



入学状況(学部・大学院)

大学院(志願者・受験者・合格者状況)

【修士課程・博士前期課程】

(平成18年度)

研究科	専攻	入学定員	志願者数					受験者数					合格者数					入学者数
			一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人	留学生	推薦	計	
人文社会科学研究科	法学	5	13	3	0	-	16	12	3	0	-	15	7	1	0	-	8	7
	経済社会システム	10	9	6	3	-	18	9	6	3	-	18	7	3	2	-	12	12
	人間環境文化論	5	5	1	1	-	7	5	1	1	-	7	4	1	1	-	6	6
	国際総合文化論	8	9	0	1	-	10	8	0	1	-	9	8	0	1	-	9	8
	臨床心理学	12	32	3	0	-	35	28	3	0	-	31	15	0	0	-	15	13
	計	40	68	13	5	-	86	62	13	5	-	80	41	5	4	-	50	46
教育学研究科	学校教育	6	9	5	5	-	19	9	5	5	-	19	8	5	3	-	16	16
	教科教育	32	32	6	2	-	40	32	6	2	-	40	26	5	1	-	32	28
	計	38	41	11	7	-	59	41	11	7	-	59	34	10	4	-	48	44
保健学研究科	看護学	12	5	6	1	-	12	5	6	1	-	12	5	6	1	-	12	12
	理学療法・作業療法	10	12	5	0	-	17	12	5	0	-	17	11	4	0	-	15	14
	計	22	17	11	1	-	29	17	11	1	-	29	16	10	1	-	27	26
理工学研究科	機械工学	27	29	0	0	6	35	27	0	0	6	33	26	0	0	6	32	32
	電気電子工学	24	34	0	2	9	45	34	0	1	9	44	31	0	1	9	41	35
	建築学	18	28	0	0	4	32	26	0	0	4	30	19	0	0	4	23	22
	応用化学工学	18	29	0	1	0	30	27	0	1	0	28	26	0	1	0	27	27
	海洋土木工学	15	19	0	1	2	22	17	0	1	2	20	15	0	1	2	18	18
	情報工学	18	17	0	4	6	27	16	0	4	6	26	15	0	2	6	23	21
	生体工学	15	12	0	0	3	15	11	0	0	3	14	10	0	0	3	13	12
	ナノ構造先端材料工学	28	32	0	1	8	41	32	0	1	8	41	29	0	1	8	38	38
	数理情報科学	12	15	0	0	1	16	15	0	0	1	16	15	0	0	1	16	16
	物理科学	11	28	0	0	1	29	28	0	0	1	29	24	0	0	1	25	23
	生命化学	15	31	0	1	-	32	30	0	1	-	31	24	0	1	-	25	22
地球環境科学	15	15	-	3	-	18	15	-	3	-	18	14	-	3	-	17	14	
	小計	216	289	0	13	40	342	278	0	12	40	330	248	0	10	40	298	280
農学研究科	生物生産学	26	24	0	0	-	24	24	0	0	-	24	24	0	0	-	24	24
	生物資源化学	21	20	0	0	-	20	19	0	0	-	19	19	0	0	-	19	16
	生物環境学	22	24	0	0	-	24	23	0	0	-	23	23	0	0	-	23	20
	計	69	68	0	0	-	68	66	0	0	-	66	66	0	0	-	66	60
水産学研究科	水産学	32	26	1	4	-	31	25	1	4	-	30	21	1	4	-	26	22
医学総合研究科	医科学	20	15	4	2	-	21	15	4	2	-	21	15	4	2	-	21	15
	合計	437	524	40	32	40	636	504	40	31	40	615	441	30	25	40	536	493

教育学研究科の「社会人」は、「現職教員等」を表す。

【博士課程・博士後期課程・専門職学位課程】

(平成18年度)

研究科	専攻	入学定員	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数			
			一般	社会人	留学生	計												
人文社会科学研究科	地域政策科学	6	1	5	1	12	1	5	1	12	0	5	0	10	0	5	0	10
			5				5				5				5			
保健学研究科	保健学	6	2	3	0	5	2	3	0	5	2	3	0	5	2	3	0	5
理工学研究科	物質生産工学	7	3	4	1	8	3	4	1	8	3	4	1	8	3	3	1	7
	システム情報工学	7	4	7	5	16	4	7	5	16	4	7	5	16	4	7	5	16
	ナノ構造先端材料工学	12	6	0	0	6	6	0	0	6	6	0	0	6	6	0	0	6
	生命物質システム	8	4	2	3	9	4	2	3	9	4	2	3	9	4	1	3	8
	計	34	17	13	9	39	17	13	9	39	17	13	9	39	17	11	9	37
医学総合研究科	健康科学	36	10	19	0	29	9	19	0	28	9	19	0	28	9	19	0	28
	先進治療科学	58	9	50	3	62	9	49	3	61	9	49	3	61	9	49	3	61
	計	94	19	69	3	91	18	68	3	89	18	68	3	89	18	68	3	89
司法政策研究科	法曹実務	30	124	-	-	124	93	-	-	93	37	-	-	37	30	-	-	30
連合農学研究科	生物生産科学	8	3	3	12	18	3	3	12	18	3	3	12	18	3	3	12	18
	生物資源利用科学	7	9	3	4	16	9	3	4	16	9	3	4	16	9	3	4	16
	生物環境保全科学	4	4	0	5	9	4	0	5	9	4	0	5	9	4	0	5	9
	水産資源科学	4	0	0	4	4	0	0	4	4	0	0	4	4	0	0	4	4
	計	23	16	6	25	47	16	6	25	47	16	6	25	47	16	6	25	47
	合計	193				318				285				227				218

人文社会科学研究科の下段は、進学者選考の数を示す。

卒業(修了)数・就職状況

卒業(修了)生数・就職状況

(平成18年5月1日現在)

学部	卒業生数 (累計)	平成 17年度 卒業生数	就職状況																	
			就職 希望 者数	就職 者数	就職率 (%)	業種別									地区別					
						農林業 漁業	建設製造 電気ガス水道 情報通信運輸 卸売小売	金融保険 医療福祉 教育学習 サービス	公務員	教員	その他	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	鹿児島 島内	その他	
法文学部	12,117	438	278	211	75.9	1	64	80	34	8	24	23	3	5	7	1	68	103	1	
教育学部	16,180	263	173	148	85.5		16	34	6	87	5	5			1	1	31	110		
理学部	5,263	188	93	88	94.6	1	46	20	6	12	3	21	1	2	1	2	22	38	1	
医学部	4,863	213	111	106	95.5		1	101	2	2		17	2	9	1	3	33	41		
歯学部	1,457	61																		
工学部	13,754	428	174	167	96.0	2	139	15	4		7	57	17	17	2	1	29	42	2	
農学部	10,445	246	163	156	95.7	15	67	35	14	3	22	36	4	17	5	4	44	41	5	
水産学部	6,330	136	101	91	90.1	2	63	14	5	4	3	21	7	10	1	2	17	29	4	
(文理学部)	2,651																			
合計	73,060	1,973	1,093	967	88.5	21	396	299	71	116	64	180	34	60	18	14	244	404	13	

- (注)1. 卒業生数(累計)は昭和24年5月本学設置以降の全数を計上した。ただし、医・工学部については昭和30年国立移管以降について計上した。
 2. 卒業生数は9月卒業生を含む。
 3. 医学部の就職状況は保健学科を表す。

大学院修了者数

(平成18年5月1日現在)

研究科	修士課程(博士前期)		博士課程(博士後期)	
	修了生数 (累計)	平成17年度 修了生数	修了生数 (累計)	平成17年度 修了生数
人文社会科学研究科	260	42	4	4
教育学研究科	412	44		
医歯学総合研究科	19	19		
保健学研究科	50	24		
医学研究科			519	22
歯学研究科			111	7
理工学研究科	3,544	242	220	24
農学研究科	1,522	75		
水産学研究科	887	37		
連合農学研究科			454	37
(法学研究科)	123			
(人文科学研究科)	120			
(理学研究科)	539			
計	7,476	483	1,308	94

- (注)1. 博士課程については、単位取得後退学した者は含まない。
 2. は旧研究科

学位授与状況

(平成18年5月1日現在)

研究科	修士課程		博士課程			
	累計	平成17年度授与	累計	平成17年度授与	論文	平成17年度授与
人文社会科学研究科	260	42	4	4		
教育学研究科	412	44				
保健学研究科	50	24				
医歯学総合研究科	19	19				
医学研究科			621	29	1,419	10
歯学研究科			133	8	59	5
理工学研究科	3,544	242	237	25	42	4
農学研究科	1,522	75				
水産学研究科	887	37				
連合農学研究科			537	45	81	9
(法学研究科)	123					
(人文科学研究科)	120					
(理学研究科)	539					
計	7,476	483	1,532	111	1,601	28

(注)1. 医学研究科については、昭和30年国立移管後の数を計上した。

奨学生状況

(平成18年5月1日現在)

学部・研究科等	在学生数	日本学生支援機構		各種団体 育英会	計	在学生に対する 百分率	
		第一種奨学生	第二種奨学生				
学部	法文学部	1,897	324	496	49	869	45.8
	教育学部	1,266	209	295	26	530	41.9
	理学部	865	157	192	13	362	41.8
	医学部	1,089	168	272	29	469	43.1
	歯学部	359	53	105	4	162	45.1
	工学部	2,235	332	514	39	885	39.6
	農学部	1,106	160	222	25	407	36.8
	水産学部	615	63	143	5	211	34.3
計	9,432	1,466	2,239	190	3,895	41.3	
大学院(修士課程)	人文社会科学研究科	106	18	4	1	23	21.7
	教育学研究科	95	15	2		17	17.9
	保健学研究科	56	3	1		4	7.1
	理工学研究科	557	123	30		153	27.5
	農学研究科	118	14	9		23	19.5
	水産学研究科	54	8	4		12	22.2
	医歯学研究科	28	4	1		5	17.9
	計	1,014	185	51	1	237	23.4
大学院(博士課程)	人文社会科学研究科	31	2	1		3	9.7
	保健学研究科	13	0	0		0	0.0
	理工学研究科	109	19	0		19	17.4
	医歯学総合研究科	312	17	10		27	8.7
	医学研究科	107	0	0		0	0.0
	歯学研究科	2	0	0		0	0.0
	連合農学研究科	175	37	0		37	21.1
計	749	75	11	0	86	11.5	
司法政策研究科	89	16	15	9	40	44.9	
合計	11,284	1,742	2,316	200	4,258	37.7	

<備考：奨学金月額> 第一種奨学生 学部生：自宅通学 45,000円 / 自宅外通学 51,000円 大学院生：修士・博士前期課程 88,000円 / 博士後期課程 122,000円
 日本学生支援機構 第二種奨学生 学部生：30,000・50,000・80,000・100,000円 大学院生：50,000・80,000・100,000・130,000円
 (平成18年度入学者) 各種団体育英会 10,000～55,000円

外国人留学生

出身国(地域)別(40カ国・地域330名)

(平成18年5月1日現在)

地域	国(地域)	法文学部	教育学部	理学部	医学系	歯学系	工学部	農学部	水産学部	連合農学研究科	留学生センター	合計
アジア州	イ ラ ン						2					2
	イ ン ド									1		1
	イ ン ド ネ シ ア	1		5	2		4	1	3	5		21
	エ ジ プ ト					1				1	1	3
	オ マ ー ン									1		1
	カ ン ボ ジ ア									1		1
	ス リ ラ ン カ									1		1
	タ イ						1	1		4		6
	ト ル コ									2		2
	パ キ ス タ ン			1	1		1		1	2		6
	バ ン グ ラ デ ィ シ ュ			2	1			1	2	9	1	16
	フ ィ リ ピ ン			2	1		2		1	6	1	13
	ベ ト ナ ム	1	2				3	2		2		10
	マ レ ー シ ア			1			16			2		19
	ミ ャ ン マ ー			1	1		2		1	2	1	8
ヨ ル ダ ン									1		1	
韓 国	5	5		6		3	4	1	2		26	
台 湾	5	1		2		1					9	
中 国	30	16	5	14	1	39	7	10	22		144	
大洋州	オーストラリア		2				1					3
	ソ ロ モ ン 諸 島										1	1
	パプアニューギニア			1								1
アフリカ州	ガ ー ナ									1		1
	カメルーン			1								1
	ケニヤ共和国										1	1
	コートジボワール									1		1
	コンゴ民主共和国			2								2
	タンザニア							5		1		6
	ナイジェリア									1		1
	マダガスカル									1		1
マラウイ									1		1	
リビア									1		1	
欧州	ス ペ イ ン						2					2
	ド イ ツ	2										2
NIS諸国	ロ シ ア	1										1
北アメリカ州	アメリカ合衆国							1				1
南アメリカ州	グ ア テ マ ラ									1		1
	コ ロ ン ビ ア				4					1		5
	ブ ラ ジ ル	2	1	1	1		1					6
	ペ ル ー				1							1
合 計		47	27	22	34	2	78	22	19	73 ⁽⁴⁸⁾	6	330 ⁽¹⁰⁸⁾

在籍身分別

(平成18年5月1日現在)

在籍身分	法文学部	教育学部	理学部	医学系	歯学系	工学部	農学部	水産学部	連合農学研究科	留学生センター	合計
大学院 博士 博士後期Ⅰ				5							5
” ” 3	4		4	5		5			30 ⁽¹⁸⁾		48 ⁽²⁸⁾
” ” 2	2		4	3	1	5			17 ⁽¹⁴⁾		32 ⁽²⁰⁾
” ” 1	1		3	5		6			26 ⁽¹⁶⁾		41 ⁽²⁷⁾
” 修士 博士前期Ⅱ	8	5	3	2		4	3	6			31 ⁽¹³⁾
” ” 1	4	5	4	3		7	5	4			32
学 部	6				1						1
” 5											
” 4	2		1	3		4		3			13
” 3	3		1	1		12	2	1			20
” 2	6	2	2	2		22	2				36
” 1	1			3		9		1			14
研 究 生	7	5				2		1			15
科 目 等 履 修 生	2										2
特 別 研 究 学 生				1							1
特 別 聴 講 学 生	7	10		1		2	10	3			33
日 本 語 研 修 コ ー ス 生										6	6
合 計	47	27	22	34	2	78	22	19	73 ⁽⁴⁸⁾	6	330 ⁽¹⁰⁸⁾

大学院連合農学研究科73名の内訳(鹿大34⁽²⁾ 宮大11 佐大18 琉大10)

印内は内数で国費留学生

経費種別

(平成18年5月1日現在)

種 別	大学院生	学部学生	研 究 生	科目等履修生	特別研究学生	特別聴講学生	日本語研修コース生	合 計
国 費 留 学 生	98(31)	1(1)	1	1		1(1)	6(1)	108(34)
マレーシア政府派遣		13(6)						13(6)
鹿児島県費留学生			3(1)					3(1)
日韓共同理工系学部留学生		3						3
短期推進制度による留学生					1(1)	10(6)		11(7)
私 費 留 学 生	91(40)	67(32)	11(2)	1		22(15)		192(89)
計	189(71)	84(39)	15(3)	2	1(1)	33(22)	6(1)	330(137)

()は女子で内数

学部別

(平成18年5月1日現在)

学 部	国 費		外国政府派遣		私 費 等		合 計
	学部学生	研究生等	学部学生	研究生等	学部学生	研究生等	
法 文 学 部		1			12(9)	13(8)	26(17)
教 育 学 部		1(1)			2(1)	14(8)	17(10)
理 学 部					4(1)		4(1)
医 学 部					9(5)	1(1)	10(6)
歯 学 部					1		1
工 学 部	1(1)		13(6)		33(10)	3	50(17)
農 学 部					4(4)	10(5)	14(9)
水 産 学 部					5(2)	4	9(2)
合 計	1(1)	2(1)	13(6)		70(32)	45(22)	131(62)

()内は女子で内数

大学院別

(平成18年5月1日現在)

研 究 科	国 費			外国政府派遣			私 費 等			合 計
	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	
人文社会科学研究科		3(1)					12(7)	4(3)	2(2)	21(13)
教育学研究科	2						8(6)			10(6)
医学研究科								1		1
歯学研究科										
医歯学総合研究科		9(5)					2(1)	9(7)	1(1)	21(14)
保健学研究科							3(2)			3(2)
理工学研究科	7(4)	16(3)	1				11(1)	11(2)		46(10)
農学研究科	5(3)						3(1)			8(4)
水産学研究科	8(2)						2			10(2)
連合農学研究科		48(13)						25(10)		73(23)
留学生センター			6(1)							6(1)
合 計	22(9)	76(22)	7(1)				41(18)	50(22)	3(3)	199(75)

()内は女子で内数

国際学術交流協定大学

大学間学術交流協定校(14カ国(地域)・38機関)

(平成17年度実績)

国・地域	締結機関名	受入数	派遣数	共同研究
中国	湘潭大学	1	1(1)	
	雲南農業大学	5(1)	1	1
	湖南農業大学	8	3	2
	中南大学	4		1
	中国医科大学	2(1)	2	2
	湖南大学		1(1)	
	中国海洋大学		2	1
	南京工業大学	15	3	2
	東北師範大学	1	4	1
韓国	中国人民大学		6	1
	中国科学院昆明植物研究所		1	2
	東北大	3	5	1
	釜慶大学	8	2(1)	
	全北大学	4(2)	4	
	群山大学	1		
	済州大学	5(2)	2	
	群山看護大学	42(1)		
インドネシア	圓光大学			
	江陵大学	31(2)	3(1)	
	江原大学	5(3)	2(1)	
	公州大学	5(1)	7	
	カルナタカ国立工科大学		4	1
	インドネシア	2	1	1
	マレーシア	3	2	
	台湾	2	11	
	タイ			
	ベトナム	1	2	
南太平洋12カ国・地域	ハノイ農業大学	1		
	ハノイ貿易大学	2(2)		
	南太平洋大学	1	3(1)	1
パプアニューギニア	パプアニューギニア大学			
	ニューイングランド大学	3(1)	4(1)	
	シドニー工科大学	1(1)	3(1)	1
	西オーストラリア地質調査所			
オーストラリア	アメリカ合衆国	1(1)	6	
	マイアミ大学	2	2	
コロンビア	バジェ州立大学			
スペイン	バレンシア工芸大学	2(2)	4(1)	

部局間学術交流協定校(10カ国(地域)・17機関)

国・地域	締結機関名	受入数	派遣数	共同研究
法文学部				
ドイツ	ミュンヘン大学東アジア研究部日本センター	2(1)	4(1)	
理学部				
インドネシア	インドネシア科学院生物学研究センター	2	9	1
歯学部				
タイ	王立プリンスオブソクラー大学歯学部	1		1
工学部				
中国	南開大学情報技術科学学院			
	江南大学化学及材料工程学院			
台湾	成功大学工学院	3	2	
タイ	チュラロンコン大学石油及石油化学大学院			
イラン	イラン理工科大学			
農学部				
インドネシア	ディボネゴロ大学農畜産学部	1(1)	1	
タイ	国立モンクットワトンプリ工科大学生物資源工学研究科	2		
タンザニア	ソコイネ農科大学	7(3)	2(1)	
水産学部				
中国	大連水産学院	2(2)	1	
韓国	韓国海洋研究所		3	1
インドネシア	ボゴール農科大学	1		
フィリピン	フィリピン大学ヴィサヤス校	18	15	1
タイ	東南アジア漁業開発センター	1		
医歯学総合研究科				
スペイン	スペイン自然科学博物館古生物学部門	1		1

受入数・派遣数欄()は、学生交流に係わる覚書に基づく受入・派遣数で内数

国際学術交流協定大学 / 研究者交流状況 / 部局別国際共同研究実施件数

研究者交流状況

外国人研究者受入状況

(平成17年度)

区 分	法文学部	教育学部	理学部	医学部	工学部	農学部	水産学部	理工学 研究科	医 歯 学 総合研究科	学 施 設 等	共 計
外国人研究員									2	2	4
外国人教員等	5	2		1	3	2	3		4	5	25
国際協力機構(JICA)による研修員						1	12		4		17
国際協力銀行(JBIC)等による研修員		2			2	3	11		1		19
日本学術振興会(JSPS)			2		1	1	15		4	1	24
科学研究費補助金			1		1	3					5
日本学生支援機構(JASSO)		4			1						5
外国政府・機関等支弁による研究員		1	1				2				4
その他の研究員	6	19	9		10	18	23	4	25		114
視察・来訪等	2	19		10	5		21		9	3	69
合 計	13	47	13	11	23	28	87	4	49	11	286

教職員の海外渡航状況

【地域別】

(平成17年度)

区 分	法文学部	教育学部	理学部	医学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学 研究科	医 歯 学 総合研究科	司法政策 研究科	学 施 設 等	共 計
ア ジ ア	36	25	29	1	12	38	55	29	8	29	0	15	277
中 近 東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
大 洋 州	1	1	3	0	3	3	6	4	0	7	0	4	32
アフリカ	0	0	0	0	3	0	2	0	0	1	0	0	6
欧 州	14	12	15	1	16	22	7	5	3	33	3	4	135
北 米	4	6	6	3	31	15	15	5	11	46	3	8	153
中 南 米	0	0	2	0	1	1	0	0	0	6	0	1	11
合 計	55	44	55	5	66	79	85	43	22	124	7	32	617

【経費別】

(平成17年度)

経費の種類	法文学部	教育学部	理学部	医学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学 研究科	医 歯 学 総合研究科	司法政策 研究科	学 施 設 等	共 計
文 部 科 学 省	2	1			1	1	1	2			3		11
その他の省庁		1	5		2		1			1			10
国際協力機構(JICA)							1			2			3
日本学術振興会(JSPS)	1	1				1	2	8					13
科学研究費補助金	23	8	20	1	4	11	11	5	2	27	1	2	115
科学技術振興調整費			3						2			1	6
鹿児島大学研究費	4	10	2			8	18	2	2	5		12	63
委任経理金等		4	2	3	51	49	33	20	13	61	1	6	243
外国の機関等		6	1				9	3		3		1	23
そ の 他	25	13	22	1	8	9	9	3	3	25	2	10	130
合 計	55	44	55	5	66	79	85	43	22	124	7	32	617

部局別国際共同研究実施件数

(平成17年度)

法文学部	教育学部	理学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学 研究科	医 歯 学 総合研究科	学 施 設 等	共 計
10	11	21	3	7	17	9	2	55	13	148

公開講座

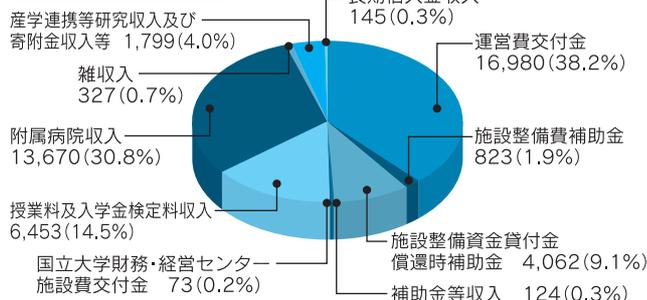
(平成18年度)

講座名	実施部局	開催期間 開設時間帯	時間数 (時間)	講習料 (円)	受講対象者	募集人員 (人)	開催場所
情報から見た人文科学	法文学部	6/24～6/25 13:00～17:00	8	2,100	高校生,市民一般	50	総合教育研究棟
日本国憲法の現在	法文学部	8/19～9/16 14:00～16:00	10	4,000	市民一般	50	総合教育研究棟
子ども理解と望ましい関わりを求めて	教育学部	7/20～7/28の3日間 9:30～16:00	12	0	幼児・小中学生の保護者及び 学校教育関係者	50	始良町中央公民館
学校カウンセリング基礎セミナー	教育学部	8/7～8/9 9:00～16:20	18	7,600	現職教員を中心とした教育関係者	60	鹿児島大学
学校におけるコンピュータの活用	教育学部	8/2～8/4 9:00～16:20	18	7,600	現場教員等の教育関係者	35	鹿児島大学
高齢者の積極的健康づくり ～寝たきりにならない、惚けないために～	教育学部	5/18～8/31(毎週木曜日) 多少の変更の可能性 10:30～11:30	15	5,000	鹿児島市在住の60歳以上の 健康な高齢者	40	教育学部 第二体育館
理学療法士・作業療法士のための統計処理 ～表計算ソフトで学ぶ統計学の実践～	医学部	6/17～7/1 13:30～16:30	6	3,200	理学療法士,作業療法士など	25	医学部保健学科
スーマリハビリテーションの基本	医学部	7/29 9:30～17:00	6.5	5,400	保健師,助産師,看護師,准看護師	50	医学部保健学科
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (牧園町)	医学部	8/6 9:00～16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業療 法士,ヘルパー,市民一般	100	霧島川リハビリテ ーションセンター
高齢者の介護 (脳卒中と骨そしょう症に対して)	医学部	8/26 13:00～17:30	4.1	5,000	看護師,介護福祉士	40	医学部保健学科
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (鹿児島市)	医学部	9/10 9:00～16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業療 法士,ヘルパー,市民一般	100	医学部鶴陵会館
ALS患者の在宅療養支援	医学部	9/16 9:30～17:00	6.5	5,400	看護職者	45	医学部保健学科
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (那覇市)	医学部	11/26 9:00～16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業療 法士,ヘルパー,市民一般	100	共済組合自治会館
歯科治療時の偶発症 ヒヤリ・ハット について考える	歯学部	2/18 13:00～18:00	5	5,000	歯科医師,歯科衛生士 歯科技工士,歯科医療関係者	50	始良郡 歯科医師会館
コンピュータを使ったモノづくり体験	工学部	8/8 10:00～17:00	6	0	高校生・高専生	20	工学部中央 実験工場
第3種電気主任技術者試験受験対策講習会	工学部	8/7 9:00～18:20	8	2,100	工業高校および 大学の電気系の学生	15	工学部中央 実験工場
森林環境教育ワークショップinたかくま	農学部	7/26～7/28の3日間 9:30～16:00	20	0	学校教員および一般	25	高隈演習林
動物の生命(いのち)と人との係わり ～鹿児島島の動物たち～	農学部	5月～7月 13:30～15:30	2	0	市民一般	80	附属動物病院
海岸へ行こう	水産学部	10/14～11/5の間に開講予定 9:00～17:00	7	0	小学生(低学年生は保護者同伴)	30	鹿児島県内の海岸
漁の技術	水産学部	8月～9月頃 13:00～15:00	2	0	漁業関係者	20	水産学部
第4回身の回りにある放射線を目と音で捉える学習	フロンティアサイエンス 研究推進センター	8/2 13:00～17:00	4	0	小・中学生および保護者	20	フロンティアサイエンス 研究推進センター
小・中学校教員を対象とする放射線教育	フロンティアサイエンス 研究推進センター	夏休み中(未定) 10:00～17:00	6	0	小・中学校教員	30	鹿児島大学
鏡視下手術市民公開講座	フロンティアサイエンス 研究推進センター	3月と10月 (予定)	1～2	0	市民一般	100	学内及び県民 交流センター
海藻おしば作製会(仮題)	総合研究博物館	5/20 13:00～15:00	2	0	小学生から市民一般	20	水産学部
大道仮説実験	生涯学習教育 研究センター	4/29,5/27,6/24 14:00～16:00	6	0	小学生以上の子どもとその保護者	20組	市立科学館
分子模型づくり講座(中級)	生涯学習教育 研究センター	4/29,5/27,6/24,7/22 10:00～11:30	6	3,200	小学3年生～中学生とその保護者 (平成17年度分子模型講座の受講者に限る)	10組	生涯学習教育 研究センター
科学館で夏休み 親子孫夫婦でたのしい仮説実験講座	生涯学習教育 研究センター	8/16～8/19 10:00～11:30	6	3,200	小学生以上の子どもとその保護者	40組	市立科学館
夏休み 親子孫夫婦でたのしい仮説実験講座	生涯学習教育 研究センター	8/24～8/27 10:00～11:30	6	3,200	小学生以上の子どもとその保護者	50組	生涯学習教育 研究センター
分子模型づくり講座(初級)	生涯学習教育 研究センター	10/28,11/25,12/16,1/27 10:00～11:30	6	3,200	小学3年生～中学生とその保護者	12組	生涯学習教育 研究センター
冬休み 親子孫夫婦でたのしい仮説実験講座	生涯学習教育 研究センター	1/6～1/7 10:00～11:30	3	2,600	小学生以上の子どもとその保護者	30組	生涯学習教育 研究センター
地域の防災マップをつくろう	生涯学習教育 研究センター	4月～9月(月1回) 10:00～12:00	12	4,400	垂水市と周辺地域在住の市民及び 行政関係者,教育関係者,学生	40	垂水市民会館
地域で自然学校をつくろう	生涯学習教育 研究センター	4月～2月(月1回) 19:30～21:30	22	6,400	垂水市大野地区住民,垂水市と周辺地域在住 の市民及び行政関係者,教育関係者,学生	40	垂水市大野 地区公民館
錦江湾の資源を使った町おこし	生涯学習教育 研究センター	4月～9月(月1回) 19:30～21:30	12	4,400	垂水市と周辺地域在住の市民及び 商工業関係者,行政関係者,教育関係者,学生	40	垂水市民会館
親子で冒険 ごごしまの海と山	生涯学習教育 研究センター	8月の2日間 9:30～16:30	14	4,800	小学4年生以上の子どもと その保護者	30	高隈演習林 錦江湾
ESDと地域づくりの連続講座	生涯学習教育 研究センター	4月～3月(隔月) 18:00～20:00	12	0	市民一般	30	生涯学習教育 研究センター
鹿児島島探訪	生涯学習教育 研究センター	9/2,9/9 13:00～16:30	7	3,400	市民一般	100	県民交流センター
鹿児島 焼酎ものがたり	生涯学習教育 研究センター	9/16,9/23 13:00～16:30	7	3,400	市民一般	100	県民交流センター
親子でリサイクル博士	生涯学習教育 研究センター	8月の3日間 10:00～12:00	6	3,200	小学4年生以上の子どもと その保護者,中学生	12組	生涯学習教育 研究センター
計			309.1			1,535	

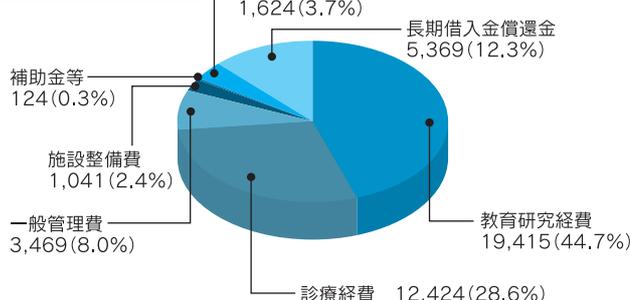
財務状況

■平成17年度収入・支出決算額

収入：44,457百万円

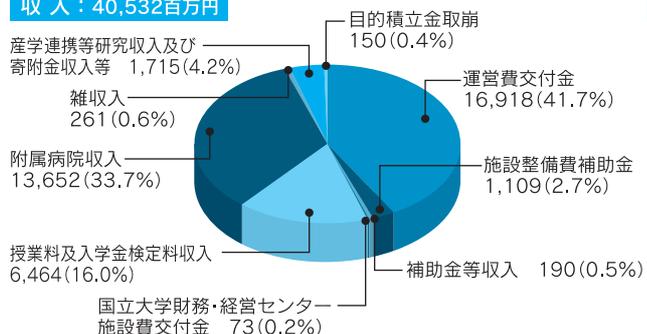


支出：43,467百万円

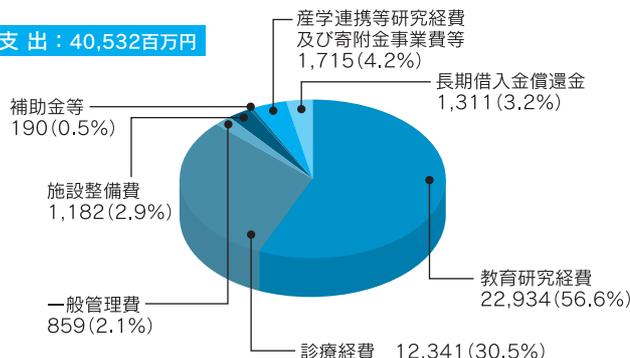


■平成18年度予算

収入：40,532百万円



支出：40,532百万円



外部資金受入状況

科学研究費補助金

【種目別採択状況】 (平成18年度) 単位：千円

研究種目	件数	金額
基盤研究 (S)	1	16,000
基盤研究 (A)	2	29,100
基盤研究 (B)	44	187,500
基盤研究 (C)	152	199,900
特定領域研究	7	36,500
萌芽研究	23	32,700
若手研究 (A)	4	16,300
若手研究 (B)	70	89,400
合計	303	607,400

【学部等別採択状況】

(単位：千円)

学部等	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	件数	金額								
学内共同教育研究施設等	5	8,700	5	7,900	8	44,800	12	36,300	11	33,200
法文学部	18	29,400	21	40,000	23	39,000	19	24,200	20	25,400
教育学部	17	22,500	15	19,700	11	10,300	10	12,500	14	18,400
理学部	22	41,400	26	57,200	24	52,700	22	32,800	20	41,300
医学部	95	231,600	85	241,200	14	22,500	14	11,000	10	9,500
歯学部	55	133,900	49	89,900						
大学院医歯学総合研究科					105	279,500	92	224,000	103	252,200
医学部・歯学部附属病院					37	48,800	43	87,900	30	45,800
工学部	44	93,000	44	111,000	44	84,900	43	84,700	48	105,400
農学部	28	80,800	30	47,700	39	86,800	39	58,800	36	53,100
水産学部	8	15,500	8	9,200	11	28,000	14	26,900	11	23,100
合計	292	656,800	283	623,800	316	697,300	308	599,100	303	607,400

(注) 件数及び金額は、研究計画調査提出時の所属部局で計上。

奨学寄附金

(単位：千円)

学 部 等	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
事 務 局									12	18,390
学内共同教育研究施設等	6	7,825	26	14,479	17	2,614	25	20,790	18	11,041
法 文 学 部	4	1,422	6	3,960	7	10,660	4	2,010	1	360
教 育 学 部	28	22,392	14	12,510	11	10,660	14	10,600	13	3,820
教育学部附属学校									3	5,990
理 学 部	13	12,376	11	12,591	13	12,730	13	12,150	18	14,279
医 学 部	877	710,794	865	686,624	788	684,864	22	5,980	16	4,730
歯 学 部	49	27,776	33	15,873	42	24,099	1	300	2	400
医学部・歯学部附属病院					98	88,800	144	86,503	119	79,127
大学院医歯学総合研究科					1	20,000	779	705,400	793	761,289
工 学 部	93	80,417	109	76,324	98	83,782	91	81,619	84	61,473
農 学 部	57	48,263	72	59,180	74	81,376	60	50,131	61	47,224
附属農場	2	940								
水 産 学 部	25	17,522	32	18,878	24	14,701	40	23,066	41	27,770
合 計	1,154	929,727	1,168	900,419	1,173	1,034,292	1,193	998,549	1,181	1,035,893

受託研究

(単位：千円)

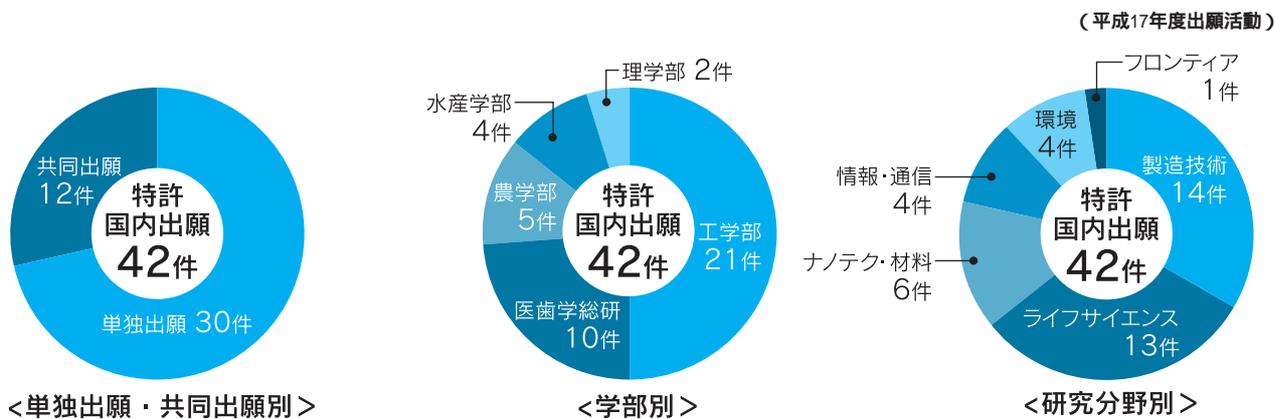
学 部 等	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	件数	金額								
事 務 局					1	79,500	2	21,554	2	23,639
学内共同教育研究施設等					1	1,500			2	1,800
法 文 学 部			1	1,492	3	4,662	1	1,000	2	1,685
教 育 学 部	2	4,443	1	943	2	963				
理 学 部	4	7,512	4	11,766	3	3,718	1	1,500	1	1,575
医 学 部	39	102,335	39	118,679	3	10,269				
歯 学 部	7	7,033	7	21,601						
医学部・歯学部附属病院					5	3,798	7	6,223	6	5,846
大学院医歯学総合研究科					44	54,637	42	110,783	36	80,067
工 学 部	15	36,660	20	84,811	21	236,528	16	73,883	20	97,278
農 学 部	11	14,300	15	71,056	13	18,008	18	75,125	19	40,414
水 産 学 部	7	9,520	14	17,247	10	11,743	13	21,258	12	16,572
合 計	85	181,803	101	327,595	106	425,326	100	311,326	100	268,876

共同研究

(単位：千円)

学 部 等	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
学内共同教育研究施設等	22	10,200	24	8,150	8	1,700	3	200	1	3,000
法 文 学 部					1	1,883				
教 育 学 部	1	200	1	500			2	2,315	1	3,150
理 学 部	4	1,920	3	1,340	3	1,340	2	920	8	4,395
医 学 部	5	4,020	5	4,500	1	525				
歯 学 部			2							
医学部・歯学部附属病院							2	1,053	1	53
大学院医歯学総合研究科					11	7,900	9	14,170	11	15,790
工 学 部	21	30,480	27	42,920	40	52,278	37	57,488	40	63,503
農 学 部	4	3,370	18	14,010	25	16,814	29	36,062	26	47,914
水 産 学 部	2	4,420	3	2,500	5	6,290	7	6,340	8	9,050
合 計	59	54,610	83	73,920	94	88,730	91	118,548	96	146,855

知的財産管理状況



平成17年度末 特許保有件数

	登録済	出願中	合計
国内	7	96 (注1)	103
外国	1	13 (注2)	14

(注1) 平成16年度国内出願件数36件

(注2) 出願国数35

平成17年度商標出願件数6件・意匠出願件数3件

平成17年度 ライセンス実績件数

特許	2
ノウハウ	2
商標	2
合計	6

学術刊行物

学部	刊行物	発行回数
法文学部	鹿児島大学法文学部紀要(法学論集、経済学論集、人文学科論集)	年2回
	鹿児島大学法文学部国語国文学会誌(国語国文薩摩路)	年1回
	鹿大史学会誌(鹿大史学)	年1回
	鹿児島大学英文学会誌(鹿大英文学)	年1回
	地域政策科学研究	年1回
教育学部	鹿児島大学教育学部研究紀要(人文・社会科学編、自然科学編、教育科学編)	年1回
	鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要	年1回
	鹿児島大学教育学部附属小学校研究紀要	年1回
	鹿児島大学教育学部附属養護学校研究紀要	隔年1回
理学部	鹿児島大学理学部紀要	年1回
医学部	鹿児島大学医学雑誌	年3回
	鹿児島大学医学部保健学科紀要	年1回
歯学部	鹿児島大学歯学部紀要	年1回
工学部	鹿児島大学工学部研究報告	年1回
農学部	鹿児島大学農学部学術報告	年1回
	Memoirs of the Faculty of Agriculture Kagoshima University	年1回
	鹿児島大学農学部農場研究報告	年1回
	鹿児島大学農学部農場技術調査報告書	隔年1回
	鹿児島大学農学部演習林研究報告	年1回
水産学部	鹿児島大学水産学部紀要	年1回
多島圏研究センター	南太平洋研究	年2回
	南太平洋海域調査研究報告	不定期
総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館研究報告	不定期
	鹿児島大学総合研究博物館モノグラフ	年1~2回
生涯学習教育研究センター	年報	年1回
留学生センター	年報	年1回

土地・建物・船舶

(平成18年5月1日現在)

区 分	土地 (m ²)	建物(延面積m ²)			備考(単位:m ²)	
		木造	非木造	計		
郡元地区	事務局		33	10,339	10,372	
	保健管理センター		0	561	561	
	附属図書館		0	12,703	12,703	
	法文学部		0	6,930	6,930	
	理学部	233,630 (22)	0	13,871	13,871	
	工学部		0	40,473	40,473	
	農学部		210	31,934	32,144	
	共通教育部		0	17,616	17,616	
その他		0	10,914	10,914		
教育学部	118,265	690	41,413	42,103		
小計	351,895 (22)	933	186,754	187,687		
桜ヶ丘地区	医学部		0	21,998	21,998	
	歯学部		0	3,115	3,115	
	医歯学総合研究科		0	33,261	33,261	
	医学部・歯学部附属病院		0	58,758	58,758	
	附属図書館	218,726 (2)	0	1,978	1,978	看護師宿舎
	フロンティアサイエンス研究推進センター		0	4,381	4,381	(土地4,431 建物4,127)
	亀ヶ原総合グラウンド		0	52	52	
桜ヶ丘寄宿舎		0	3,122	3,122		
小計	218,726 (2)	0	126,665	126,665		
下荒田地区	水産学部地区		93	12,057	12,150	
	国際交流会館(1号館)		0	1,430	1,430	
	国際交流会館(2号館)	49,153	0	1,259	1,259	宿舎
	外国人研究者宿泊施設		0	502	502	(土地3,382 建物2,028)
小計	49,153 (0)	93	15,248	15,341		
その他	唐湊寄宿舎	24,696	0	5,694	5,694	
	唐湊果樹園	72,682	0	1,015	1,015	
	唐湊林園	9,957	19	0	19	
	寺山自然教育研究施設	301,248	0	831	831	
	教育学部附属養護学校	16,776	509	3,058	3,567	
	桜島火山観測点	297	0	31	31	
	霧島リハビリテーションセンター	15,425 (123)	6	4,564	4,570	宿舎(土地2,615 建物685)
	高隈演習林	30,619,422	88	1,535	1,623	
	佐多演習林	2,992,325	0	166	166	
	入来牧場	1,478,451 (25)	0	3,497	3,497	
	垂水実験地	4,622	68	0	68	宿舎(土地220 建物69)
	桜島熔岩実験場	372,713	0	0	0	
	指宿植物試験場	39,127	313	2,246	2,559	宿舎(土地1,780 建物130)
	東町ステーション	16,902	0	1,183	1,183	
	鴨池臨海地	4,990 (94)	0	1,642	1,642	
	職員会館及び外国人宿泊施設	955	0	717	717	
	磯艇庫	407 (202)	0	243	243	
	谷山ふ頭	0 (799)	0	0	0	その他宿舎
	平川艇庫	0 (595)	0	208	208	(土地25,260 建物15,327)
	甌島観測点	0 (49)	0	24	24	
伊集院観測点	0 (7)	0	0	0		
屋久島観測点	0 (114)	0	40	40		
串間観測点	0 (58)	0	58	58		
紫尾観測点	0 (58)	0	58	58		
黒島観測点	0 (58)	0	58	58		
佐多観測点	0 (58)	0	11	11		
高岡観測点	0 (106)	0	40	40		
吉松観測点	0 (47)	0	0	0		
田代観測点	0 (6)	0	0	0		
その他	0 (26)	0	598	598		
小計	35,970,995 (2,425)	1,003	27,517	28,520		
合計	36,590,769 (2,449)	2,029	356,184	358,213	宿舎(土地37,688 建22,366)	

(注) 1.土地欄()内数量は借用地
2.各地区土地及び建物数量には備考欄宿舎の数量は含まない。

船名	トン数(トン)	機関	馬力	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	建造年月日
かごしま丸	1,292.75	ディーゼル	2,200	62.70	12.60	5.45	昭和56年10月30日
南星丸	175.00	"	1,800	34.20	7.50	3.30	平成14年11月28日

土地・建物・船舶 / 各キャンパス航空写真



郡元キャンパス



桜ヶ丘キャンパス



下荒田キャンパス

郡元キャンパス

- 法文学部
- 教育学部
- 理学部
- 工学部
- 農学部
- 大学院司法政策研究科
- 大学院連合農学研究科



- 1 事務局
- 2 保健管理センター
- 3 事務局車庫、電話交換室、埋蔵文化財調査室
- 4 農学部1号館(管理室・講義室・学生実験室)
- 5 農学部2号館(獣医学科実験研究室)
- 6 農学部附属動物病院
- 7 農学部3号館(生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 8 農学部研究棟E(生物環境学科実験研究室・附属演習林)
- 9 農学部研究棟D
(生物生産学科・生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 10 農学部6号館
(生物生産学科実験研究室・農業経営経済学研究室)
- 11 農学部7号館(獣医学科)
- 12 遺伝子実験施設
(フロンティアサイエンス研究推進センター・アイソトープ総合実験室)
- 13 RI実験施設
- 14 農学部温室
- 15 " 植物研究実験施設(温室)
- 16 " 網室・硝子室
- 17 " 附属農場動物飼育棟
- 18 " 附属農場研究実習棟
- 19 " 低温貯蔵実験棟
- 20 " 水理実験棟
- 21 " 昆虫飼育棟
- 22 変電所
- 23 ボイラー棟・廃液処理施設
- 24 中央食堂
- 25 工学部中央実験工場
- 26 " 機械工学科第三実験棟
- 27 " 機械工学科2号棟
- 28 " 建築学科棟
- 29 工学部電気電子工学科棟

- 30 " 機械工学科第一実験棟
- 31 " 機械工学科1号棟
- 32 " 応用化学工学科1号棟
- 33 " 機械工学科第二実験棟
- 34 " 応用化学工学科2号棟
- 35 " 海洋波動実験棟
- 36 " 薬品庫
- 37 " 海洋土木工学科棟
- 38 " 情報工学科棟
- 39 " 共通棟(生体工学科・稲盛経営技術アカデミー)
- 40 産学官連携推進機構棟1
- 41 産学官連携推進機構棟2(ベンチャービジネスラボラトリー)
- 42 工学部管理棟
- 43 稲盛会館
- 44 倉庫
- 45 総合研究博物館
- 46 理学部1号館(管理室・物理科学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室) 理系先端研究棟
- 47 理学部2号館(数理情報科学科・生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 48 理学部3号館
(生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 49 理工系総合研究棟
(フロンティアサイエンス研究推進センター・機器分析室)

地区別建物等配置図 郡元キャンパス

- ① 北辰通り (大正4年第七高等学校第14回記念祭歌「北辰斜めに」に由来)
- ② 銀杏並木通り
- ③ 稲盛通り (稲盛和夫京セラ名誉会長の寄贈の稲盛会館にちなんだもの)
- ④ 田園通り (附属農場越しに桜島が望めます。)
- ⑤ みのりの小径
- ⑥ 本部前・緒方通り (初代学長 緒方健三郎氏に由来)
- ⑦ 植物園通り
- ⑧ ふれあい通り
- ⑨ 教育学部通り
- ⑩ 玉利通り (鹿児島高等農林学校初代校長 玉利喜造博士に由来)
- ⑪ 工学部通り
- ⑫ 理学部通り
- ⑬ 森の小径
- ⑭ 法文学部通り



- ⑤⑩ 学術情報基盤センター
- ⑤⑪ 大学会館 (1・2・4号館)
- ⑤⑫ " (3号館)
- ⑤⑬ 共通教育棟1号館
(管理室・講義室・教育センター・就職支援センター)
- ⑤⑭ " 2号館 (文科研究室)
- ⑤⑮ " 3号館 (理科研究室) 留学生センター
- ⑤⑯ " 4号館 (理科研究室)
- ⑤⑰ 中央図書館
- ⑤⑱ 法文学部管理・研究・講義棟
- ⑤⑲ " 講義棟
- ⑤⑳ " 講義棟
- ⑤㉑ 課外活動共用施設 (サークル棟)
- ⑤㉒ 第一体育館
- ⑤㉓ 第二体育館
- ⑤㉔ 教育学部武道場
- ⑤㉕ " 体育科実験研究棟
- ⑤㉖ " 管理棟・自然系理科実験棟
- ⑤㉗ " 第一講義棟
- ⑤㉘ 教育学部実習棟
- ⑤㉙ " 第二講義棟・生涯学習教育研究センター
- ⑤㉚ " 文系研究棟
- ⑤㉛ " 音楽美術科棟
- ⑤㉜ " 附属教育実践総合センター
- ⑤㉝ 屋内プール50m
- ⑤㉞ 教育学部附属幼稚園
- ⑤㉟ " 附属中学校
- ⑤㊱ " 附属中学校体育館
- ⑤㊲ " 附属小学校
- ⑤㊳ " 附属小学校体育館
- ⑤㊴ " 附属小学校昆虫飼育棟
- ⑤㊵ " 倉庫
- ⑤㊶ 弓道場
- ⑤㊷ 課外活動共用施設 (サークル棟)
- ⑤㊸ 総合研究博物館展示棟 (常設展示室)
- ⑤㊹ 大学院連合農学研究科棟
- ⑤㊺ 馬術部馬房
- ⑤㊻ 郡元南食堂
- ⑤㊼ 総合教育研究棟 (多島園研究センター)

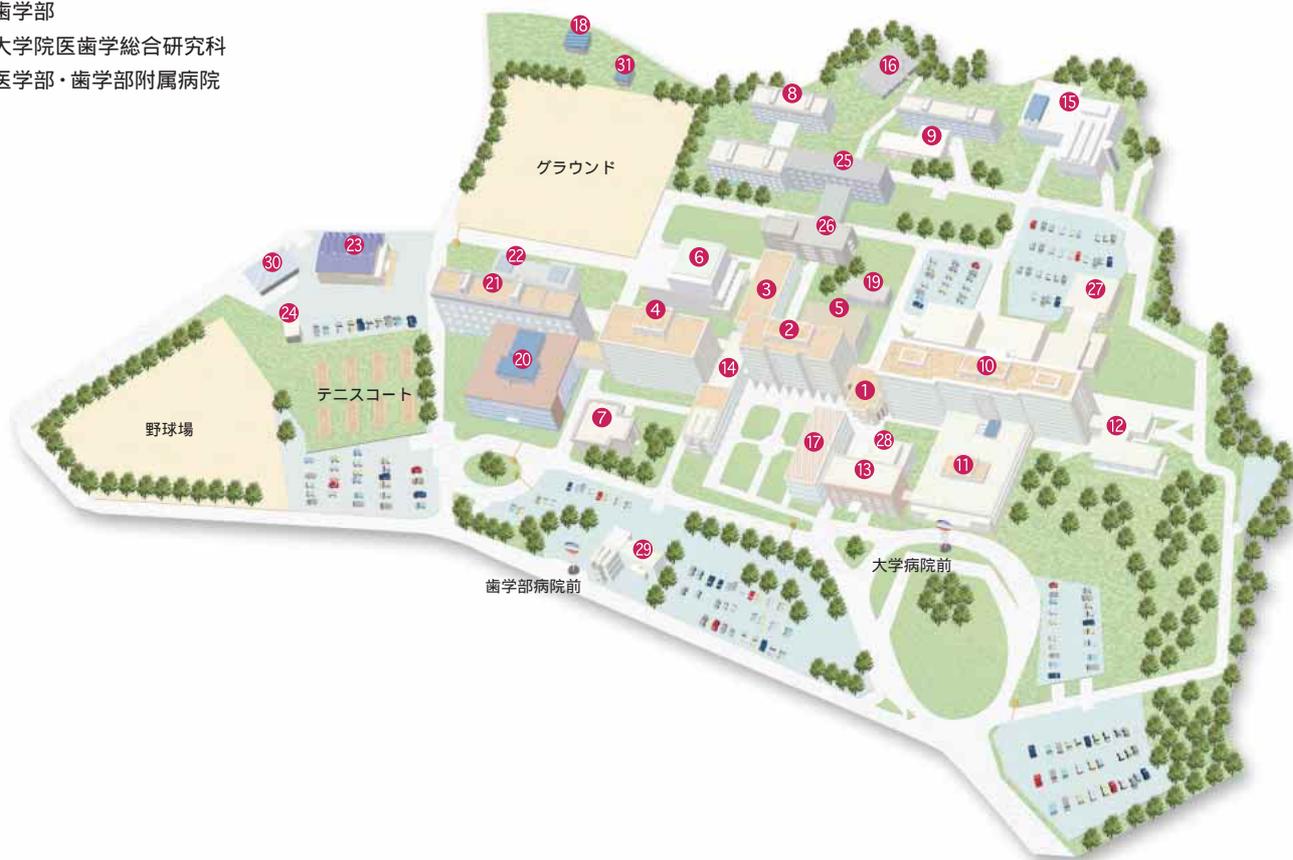
桜ヶ丘キャンパス

医学部

歯学部

大学院医歯学総合研究科

医学部・歯学部附属病院



- ① 医学部臨床講義実習棟
- ② 医歯学総合研究科棟3 (臨床医学系)
- ③ " 4 (新臨床医学系)
難治ウイルス病態制御研究センター
- ④ 医歯学総合研究科棟2 (基礎医学系)
- ⑤ RI実験施設
- ⑥ 動物実験施設
(フロンティアサイエンス研究推進センター)
- ⑦ 福利厚生施設 (桜ヶ丘会館)
- ⑧ 学生宿舎
- ⑨ 医学部・歯学部附属病院看護師宿舎
- ⑩ " 附属病院医科病棟

- ⑪ 医学部・歯学部附属病院医科診療棟
- ⑫ " 附属病院結核感染病棟
- ⑬ " 附属病院管理棟
- ⑭ 医学部基礎講義実習棟
医歯学総合研究科共同利用研究棟
- ⑮ 中央機械棟
- ⑯ ボンプ室
- ⑰ 附属図書館桜ヶ丘分館
- ⑱ サークル棟
- ⑲ 実験廃液処理施設
- ⑳ 医学部・歯学部附属病院歯科診療棟・病棟
- ㉑ 医歯学総合研究科棟1(歯学系)

- ㉒ 歯学部講義実習棟
- ㉓ 桜ヶ丘体育館
- ㉔ 体育器具庫
- ㉕ 医学部保健学科研究棟
- ㉖ 共通教育棟
- ㉗ MRI-CT装置棟
- ㉘ 医療情報施設
- ㉙ 鶴陵会館
- ㉚ 桜ヶ丘武道場
- ㉛ 弓道場

地区別建物等配置図
桜ヶ丘キャンパス / 下荒田キャンパス / 学生寮

下荒田キャンパス

水産学部



- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| ① 管理・研究棟 | ⑫ 車庫・倉庫 |
| ② 資源利用科学棟 | ⑬ 附属海洋資源環境教育研究センター実験・実習棟 |
| ③ 管理・研究棟(4F講義室) | ⑭ 資源育成科学棟 |
| ④ 変電室 | ⑮ 附属図書館水産学部分館 |
| ⑤ サークル棟 | ⑯ 講義棟 |
| ⑥ 資源利用科学実習棟・UPVリエゾンオフィス・プロジェクト研究室 | ⑰ 倉庫 |
| ⑦ 福利厚生棟 | ⑱ 外国人研究者宿泊施設 |
| (1F: 食堂・売店、2F: 附属海洋資源環境教育研究センター) | |
| ⑧ 国際交流会館(1号館) | |
| ⑨ " (2号館) | |
| ⑩ 大型回流水槽実験棟 | |
| ⑪ 職員宿舎 | |

学生寮 唐湊3丁目

- | |
|-----------|
| ① 男子寄宿舍A棟 |
| ② " B棟 |
| ③ " C棟 |
| ④ 女子寄宿舍 |
| ⑤ 共用棟 |



鹿児島大学位置図・鹿児島市内交通アクセス 東京リエゾンオフィス交通アクセス

鹿児島大学・附属施設位置図



鹿児島市内交通アクセス

鹿児島空港から...鹿児島空港リムジンバスで天文館まで約45分、鹿児島中央駅まで約55分

郡元キャンパス
(鹿児島中央駅経由)
市電/郡元行 工学部前まで10分
市バス/「9・11・20番線(鴨池港行)」 鹿大正門前まで約10分
市バス/「9・11・20番線(鴨池港行)」 法文学部前まで約10分

桜ヶ丘キャンパス
(鹿児島中央駅経由)
市バス/「18番線(大学病院経由桜ヶ丘行)」 大学病院前まで約40分
市バス/「」 歯学部病院前まで約40分

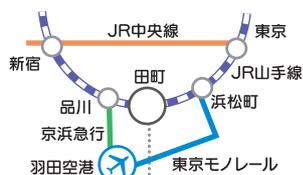
鹿児島交通バス/「14番線(大学病院行)」 大学病院前下車

下荒田キャンパス
(鹿児島中央駅経由)
市バス/「11番線(鴨池港行)」 体育館前まで約8分
市バス/「12・31・32番線(三和町行)」 水産学部前下車

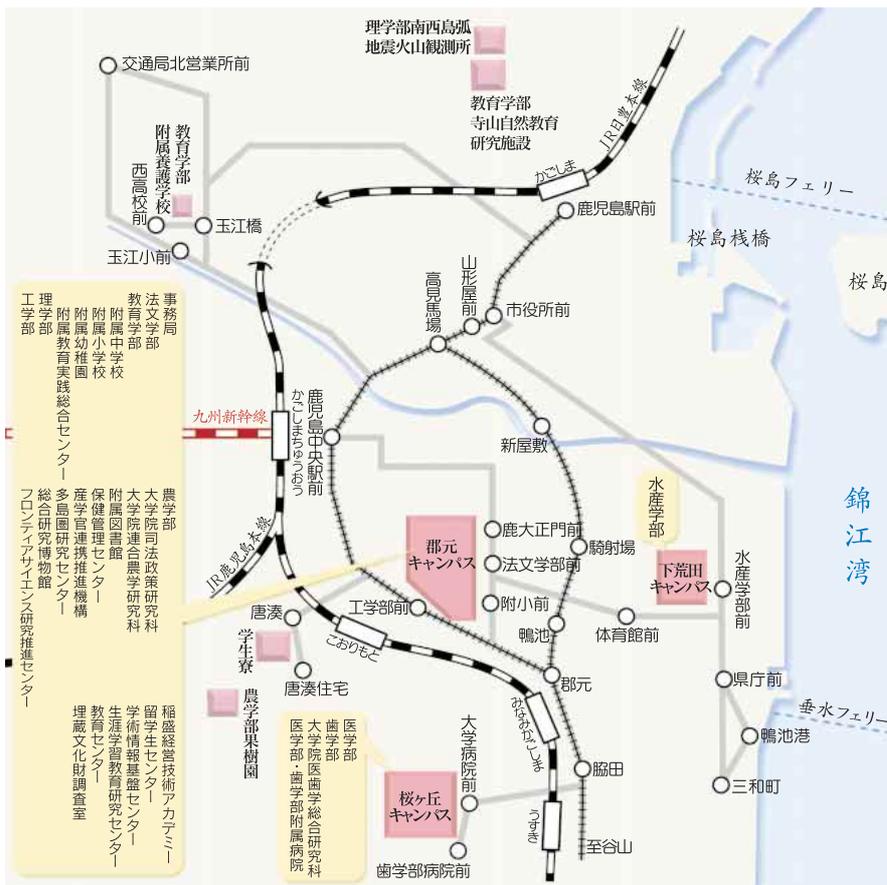
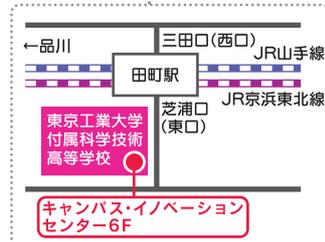
鹿児島大学東京リエゾンオフィス

- 所在地
〒110-8023 東京都港区芝浦3丁目3番6号
キャンパスイノベーションセンター(CIC)
607号室
TEL・FAX: 03-5440-9099
(CIC)受付TEL 03-5440-9020
- アクセス
JR田町駅 芝浦口(東口)から徒歩1分

■主要駅から



■田町駅から



所在地一覧

所在地一覧

【事務局】	〒890-8580鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【法文学部】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7111(代表)
【教育学部】	〒890-0065 " 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7111(代表)時間外099(285)7729
附属小学校	〒890-0065 " 郡元一丁目20番15号	☎099(285)7962
附属中学校	〒890-0065 " 郡元一丁目20番35号	☎099(285)7932
附属養護学校	〒890-0005 " 下伊敷一丁目10番1号	☎099(224)76257・0206
附属幼稚園	〒890-0065 " 郡元一丁目20番15号	☎099(285)7990
附属教育実践総合センター	〒890-0065 " 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7111(代表)
【理学部】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7111(代表)
附属南西島弧地震火山観測所	〒892-0871 " 吉野町10861	☎099(244)7411
【医学部】	〒890-8544 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)7111(代表・時間外)
【歯学部】	〒890-8544 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)7111(代表・時間外)
【医学部・歯学部附属病院】	〒890-8520 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)7111(代表・時間外)
霧島リハビリテーションセンター	〒899-6603霧島市牧園町高千穂3930-7	☎099(78)7457・2538(代表・時間外)
【工学部】	〒890-0065鹿児島市郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【農学部】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
附属農場	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7771
唐湊果樹園	〒890-0081 " 唐湊三丁目32番1号	☎099(254)71042
指宿植物試験場	〒891-0402指宿市十町1291番地	☎099(22)7848
入来牧場	〒895-1402薩摩川内市入来町浦之名字大谷4018-3	☎099(44)7204
附属演習林	〒890-0065鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)7744
高隈演習林	〒891-2101垂水市海潟3237番地	☎099(32)7329
佐多演習林	〒893-2604肝属郡南大隅町佐多大字馬籠349番地	
附属動物病院	〒890-0065鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)7750
【水産学部】	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)7111(代表)
附属海洋資源環境教育研究センター	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)7296
附属海洋資源環境教育研究センター東町ステーション	〒899-1403出水郡長島町諸浦字蛤潟1620-3	☎099(64)7013
【大学院医歯学総合研究科】	〒890-8544鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)7111(代表)
附属難治ウイルス病態制御研究センター	〒890-8544 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)7111(代表)
【大学院連合農学研究科】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【附属図書館】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7415
桜ヶ丘分館	〒890-8532 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)7201
水産学部分館	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)74051
【保健管理センター】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7385
【多島圏研究センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7394
【留学生センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7601
【総合研究博物館】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7141
【学術情報基盤センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7474
【生涯学習教育研究センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7294
【教育センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7821
【稲盛経営技術アカデミー】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7329
【フロンティアサイエンス研究推進センター】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7583
アイソトープ総合実験室	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7594
遺伝子実験施設	〒890-0065 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7581
動物実験施設	〒890-8520 " 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)7500
機器分析室	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7188
【産学官連携推進機構】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	
産学官連携部門	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7491
知的財産部門	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7881
ベンチャービジネス部門	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7630
管理部門	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7106
【埋蔵文化財調査室】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7220
【地域貢献推進室】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【稲盛会館】	〒890-0065 " 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【大学会館】	〒890-8580 " 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7324
【学生寮】	〒890-0081 " 唐湊三丁目3番1号	☎099(251)7328・099(254)7908
【国際交流会館(1号館・2号館)】	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	☎099(252)7551
【職員会館(天心荘)】	〒890-0082 " 紫原三丁目20番19号	☎099(252)7577
【外国人研究員等宿泊施設】	〒890-0082 " 紫原三丁目20番19号	
【外国人研究者宿泊施設】	〒890-0056 " 下荒田四丁目50番20号	
【シリコンバレーオフィス】		

Pixera Corporation, 140 Knowles Drive, Los Gatos, CA 95032, USA
アメリカ合衆国カリフォルニア州ロスガスト市ピクセラ社本社内

鹿児島大学学章



創立50周年を記念して制定された。
KAGOSHIMAの頭文字『K』をデザインしたものである。
今、まさに飛び立とうとしている姿を『鳳』の形にデザインし、歴史と伝統に輝く鹿児島大学のキャンパスを巣立つ卒業生が世界の舞台を翔ようとしている姿をシンボル化したものである。

編集・発行 鹿児島大学総務部総務課
〒890 8580 鹿児島市郡元一丁目21番24号
代表電話 099(285)7111
FAX 099(285)7034
URL <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>
発行日 平成18年7月